

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名前		比嘉 太		所属		医学部附属病院 第一内科		職名		講師	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.22	学部講義(感染症系1枠、呼吸器系2枠)を担当し、配布資料およびスライドを適切に準備した判りやすい講義を行う。臨床実習において、PBLに準拠した講義を行う。BPEおよびOSCEを担当して、学生に臨床実技の基本しっかりと習得させる。呼吸器系および感染症経の診療および検査に関して実地に適切な指導を行う。大学院生の研究指導・実施・遂行について指導を行う。				0.22	配布資料およびスライドを準備し、動画を利用して判りやすい講義を行った。BPEおよびOSCEを担当した。呼吸器疾患および感染症経の診療および検査に関して実地に適切な指導を行った。				
研究	0.22	呼吸器内科学、感染症学に関する基礎研究および臨床研究の計画・実施・遂行を行い、これを学術誌に報告掲載する。学会での研究報告を行う。日本学術振興会およびその他の競争的研究資金公募に積極的に応募し、研究資金を確保する。				0.10	呼吸器内科学、感染症学に関する臨床研究の計画・実施・遂行を行い、peer reviewのある英文誌に1編掲載予定である。大学院生(博士課程)の研究計画・実施・遂行について、社会人学生でもあり、十分な研究指導ができず研究論文がまだ完成していない。日本学術振興会科研費に応募したが、評価が上位25%に判定されたが、資金獲得には至らなかった。				
社会貢献	0.04	沖縄県南部保健所感染症審議会 委員長(平成24年度～)を担当し、地域の感染対策に貢献する。以下の役職を担当することにより社会貢献を行う。：琉球大学附属小中学校結核対策委員(平成23年度～)日本感染症学会(評議員、院内感染相談員)日本化学療法学会(評議員)、日本呼吸器学会(代議員)、日本環境感染学会(評議員)				0.10	沖縄県南部保健所感染症審議会委員長(平成24年度～)として、地域の感染対策に尽力した。日本感染症学会(評議員、院内感染相談員)日本化学療法学会(評議員)、日本呼吸器学会(代議員、肺炎診療ガイドライン作成委員)、日本環境感染学会(評議員)として学術的活動を通して社会貢献を行った。				
管理運営	0.20	以下の職責をしっかりと実施する：第一内科外来医長、附属病院感染対策室員、感染対策委員会委員、保険診療専門部会委員、薬剤安全管理委員会委員。特に第一内科外来運営および感染対策室員の業務についてしっかりと行う。				0.15	以下の職責を実行し、それぞれの委員会などに確実に出席した：第一内科外来医長、附属病院感染対策室員、感染対策委員会委員、保険診療専門部会委員、薬剤安全管理委員会委員。一内外来について円滑な業務遂行を推進した。				
進路指導	0.02	学部学生、大学院生、研修医などに対する個別の相談にしっかりと対応する。大学病院における初期臨床研修および後期専門研修の意義を指導する。				0.01	大学院生、研修医、後期研修医、などの個別の相談にしっかりと対応した。大学病院における後期専門研修の意義を指導した。				
診療	0.30	琉球大学医学部附属病院にて感染症および呼吸器専門外来診療(月水金)、禁煙外来(水)、総合診療(水3カ月、金バックアップ)を行っている。病棟入院患者のコンサルト、感染症・呼吸器病棟患者の診療に随時対応する。				0.42	琉球大学医学部附属病院にて感染症および呼吸器専門外来診療(HIV感染、抗酸菌感染症、肺がん、間質性肺炎、膠原病、慢性呼吸不全、気管支喘息、など；毎週月金および不定期、平均15人程度)、禁煙外来(月3回)、総合診療(水3カ月、毎週金バックアップ)を行った。気管支内視鏡検査(毎週水)の指導を行った。他科病棟入院患者のコンサルト、感染症・呼吸器病棟患者の診療に随時対応した。				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		平田 哲生	所 属		第一内科
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	学部学生の講義を双方向性に近づける。 臨床実習学生に対するベッドサイドティーチングの充実。		0.10	学生講義、ベッドサイドティーチングともに不十分であった。
研究	0.20	糞線虫症に関する臨床研究の遂行。 英文誌への論文投稿1編以上行う。 学会での報告発表を1回以上行う。 科研費の獲得。		0.10	臨床研究に関しては十分遂行した。 学会、投稿については不十分であった。
社会 貢献	0.05	学外の研究会への参加・発表を行う。 他施設での講演・講義を行う。		0.05	他施設での講演を2回、研究会での講演も1回行なった。
管理 運営	0.05	大学病院内、学部内各種委員会の参加		0.50	多数の委員会への参加を行い、特に病院システム更新のWGリーダーとして積極的に活動を行った。
進路 指導	0.00	なし		0.00	
診療	0.50	附属病院における診療活動の充実		0.25	外来診療、内視鏡検査などは、管理運営業務が多く不十分であった。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	宮城 一也		所 属	第一内科	
職 名	助教				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟実習において、活発に意見を述べるができる環境を作る ●可能な限り実技を見学させ、その方法や意義の理解を深める方法を構築する ●講義において学生がより興味を持てるよう常に内容を更新する 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟実習において積極的に意見を述べるができる学生が多かった ●手技に関しても可能な限り研修医に指導し、実施させた。 ●シミュレーターを用いた講義も行った
研究	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ●学会で発表を積極的に行う。 ●発表したものに関して学会誌へ投稿する。 ●常に基礎研究と臨床の接点を模索する 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に学会発表を行った。また研修医にも指導し学会発表を経験させた ●英語の論文1編執筆した。
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ●学外の研究会に積極的に参加し、機会があれば発表も行う 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ●市民公開講座にて発表した
管理運営	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ●内視鏡運営の小委員会へ出席し、よりよい検査の提供のために提案を行う。 		0.00	<ul style="list-style-type: none"> ●管理運営には関われなかった
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ●医学部生、初期、後期研修医と積極的にコミュニケーションをとり各々にあったアドバイスを行うように心がける 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ●学生、研修医と積極的にコミュニケーションをとり大学での研修をより充実したものにするためにアドバイスをすることができた
診療	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ●外来診療において可能な限り患者さんを待たすことのないようこころがけ、また診療の質も落とさないよう留意する ●他院からの紹介に対し適切な検査、治療を行うことでさらに連携を深めていく ●病棟診療においてエビデンスに基づいた診療を行うことはもちろんのこと、常に患者様の不安を取り除けるよう気を配る。 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に逆紹介を行うことで患者の数が減り、待ち時間減少、診療の質の向上を図れた。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		前城 達次	所 属		第一内科
			職 名		特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.10	医学部学生への臨床実習での講義など		0.10	医学部学生への臨床実習での講義など
研究	0.25	沖縄県クラスター事業にて肝線維化研究		0.25	沖縄県クラスター事業にて肝線維化研究
社会貢献	0.25	肝疾患診療連携拠点病院事業にて活動		0.25	一般市民向け講演会や医療従事者むけの講演会を開催
管理運営	0.00			0.00	
進路指導	0.00			0.00	
診療	0.40	外来、病棟、検査での診療		0.40	外来、病棟、検査での診療
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		池間 朋己		所 属		第二内科		職 名		講師	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.10	系統講義・臨床実習で指導を行う。				0.10	系統講義2コマ・TBL準備・BPE2コマ・OSCE試験監督・試験問題作成(系統講義・卒業試験・総合試験)を行った。				
研究	0.15	論文作成を行う。				0.05	1編論文を作成した(沖縄県医師会雑誌)。				
社会貢献	0.05	小児糖尿病サマーキャンプ運営 糖尿病週間への参加				0.05	小児糖尿病サマーキャンプ運営への参加。糖尿病週間には参加していない。糖尿病協会沖縄県支部理事会への参加、日本内分泌学会・内分泌学会九州地方会・糖尿病学会九州地方会の座長を務めた。				
管理運営	0.15	教室の運営・管理 院内会議への出席				0.05	教室の運営・管理 院内会議(電子カルテワーキンググループ・診療委員会など)へ出席した。				
診療	0.55	外来・病棟診療。後輩医師への診療診療・教育				0.75	週に3回の外来診療・連日の入院患者の血糖管理を行った。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		仲村 英昭		所 属		医学部附属病院第二内科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.10	学生対象の講義、初期研修医対象のレクチャーを行う。				0.10	学生対象の講義、初期研修医対象のレクチャーを予定通り実施できた。				
研究	0.20	現在進行中である、生活習慣病を予防・改善する沖縄県高機能米開発(難消化米プロジェクト)の遂行、および論文作成に取り組む。				0.10	沖縄県高機能米開発(難消化米プロジェクト)の臨床研究を6人の被験者に実施した。目標症例数に達しておらず、論文は未作成。				
社会貢献	0.20	学会発表、症例報告論文の作成、および糖尿病サマーキャンプにおける活動に取り組む。				0.15	学会発表や、糖尿病サマーキャンプにおける活動に取り組んだ。論文は未作成。				
管理運営	0.10	院内・学内の各種委員会における職責を全うする。				0.20	主に栄養サポートチームの一員として職務にあたった。平成26年4月1日より栄養管理部副部長を併任している。				
進路指導	0.10	学生、初期研修医に対し、内科医としての知識や心構えなどを伝えていく。				0.10	学生、初期研修医に対し、日々のミーティング、回診における指導やミニレクチャーを行った。				
診療	0.30	入院患者、および外来患者の診療に取り組む。				0.35	入院患者、および外来患者の診療に取り組んでいる。双方において、担当した患者数は昨年度より増加した。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		中山 良朗		所 属		第二内科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.15	学生、研修医、若手の先生に臨床的指導を行う。学生に系統講義を行う。				0.15	やるべき時間内でそれなりの指導はできたと思う。				
研究	0.40	臨床、基礎研究に真摯に取り組み、一定の方向性をつける。				0.30	基礎実験がスタートし一定の結果はでたが、まだまだ考察は不十分。				
社会貢献	0.10	県医師会や学会発表、糖尿病サマーキャンプなどに取り組む。				0.05	学会発表や講演会など十分ではないが、取り組めた。				
管理運営	0.10	院内・学内の各種委員会における職務を全うする。				0.05	外来医長やその他委員会に出席し、調整は行った。				
進路指導	0.05	学生、研修医に内科医としての魅力、医療に対する姿勢を伝える。				0.05	十分ではないが、できる範囲では行った。				
臨床	0.20	入院、外来患者を丁寧に診療にあたる。				0.40	しっかり行えたと思う。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		難波 豊隆		所 属		第二内科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.25	学生講義およびポリクリ学生の指導を行う。				0.20	学生講義・内分泌系 系統講義試験を担当した。 また、ポリクリ学生へ病棟実習で指導を行った。				
研究	0.05	機能的MRIを用いた研究を検討する。				0.05	患者選定等が難しく、思うように進まなかった。				
社会貢献	0.10	小児糖尿病サマーキャンプを運営する。				0.15	2014年度小児糖尿病サマーキャンプでリーダーを務め運営した。				
管理運営	0.05	感染対策委員およびリスクマネージャーを担当する。				0.10	当科病棟(9西)での各種集団感染に対応した。 病院の医療監査に対応した。				
進路指導	0.05	ポリクリ学生および初期研修医の進路相談を行う。				0.05	特に初期研修医の研修終了後の進路相談を行った。				
診療	0.50	外来および病棟業務を行う。				0.45	外来および病棟業務を行い、研修医および後輩医師への指導を行った。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		伊敷 哲也	所 属		第三内科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	シュミレータ実習の充実をはかることで診察手技能力の向上をめざす。		0.10	聴診技術習得のためにシュミレーター実習を取り入れている。今後はそれを踏まえたベットサイド実習にももっと力を入れたい。
研究	0.20	「心不全診療で使用される新規利尿薬に関する多施設共同研究」「超音波装置を使用した血管内皮機能検査の臨床応用に関する多施設共同研究」が進行中であり、さらに進める。さらに肺高血圧症、虚血性心疾患、慢性心不全に関する臨床研究を準備中。		0.10	進行中の臨床研究についてはすべて登録が終了しフォローアップに入っている。新たな臨床研究についてはまだ開始できておらず、鋭意準備をすすめる。
社会貢献	0.10	最新の治療や研究に関する情報を各種情報媒体を利用して発信する。		0.30	論文投稿や研究会、学会発表を通じて研究成果を発表した。
管理運営	0.10	医療安全の面にも配慮しながら、医師の過重労働を減らし、医療の質を担保しながら、高度医療を提供するために診療体制の改革をすすめる。		0.00	受け入れ患者の急増に伴い医師や看護師などの負担が増え、労働環境は悪化している。状況改善のために何らかの方策を検討していく必要がある。
診療	0.40	重症心不全患者の予後改善のために心臓リハビリテーション医を中心とした多職種連携(医師、看護師、薬剤師、栄養師、理学療法師)のさらなる充実をはかり、不整脈、虚血性心疾患インターベンション、睡眠呼吸障害など多面的でかつ高いレベルの医療を提供する体制づくりをめざす。		0.50	心臓移植登録や人工心臓植え込み目的の重症心不全例や重症不整脈、重症肺高血圧症例などの受け入れを通じて、診療技術における不備な点も見つかり今後改善をすすめる。また重症不整脈については県内初の治療も行なった。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		崎間洋邦	所 属		第三内科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	①M4講義(脳血管障害) ②M5, M6学生のベッドサイドでの神経診察指導(NIHSS含む)			0.30	①M4講義(脳血管障害, 脳神経超音波検査)担当を行った。②M5, M6のベッドサイドでの神経診察指導を朝夕の回診で行った。頸動脈超音波検査に関してもレクチャーを行った。		
研究	0.30	①後期研修医および医員の論文および症例報告論文作成支援 ②おきなわ脳卒中地域連携事業のデータ解析 ③症例報告を含め、臨床研究を行い学会発表・論部作成を進める			0.30	①後期研修医および医員に計4回、学会での症例発表の指導を行った。和文1編、症例報告を作成し受理された。②おきなわ脳卒中地域連携事業のデータ解析結果を県医学会で報告した。③和文の症例報告1編が掲載された。脳神経超音波学会で学会発表を行った。		
社会貢献	0.20	①おきなわ脳卒中地域連携事業の推進 ②臨床研究から得られた知見を広めていく			0.20	①おきなわ脳卒中地域連携事業で県内の現状を報告し、維持期の拡充が必要である事を委員会で認識し、維持期医療機関の拡大に向けて活動していくこととなった。②学会総会や研究会、総説作成などで得られた知見を発表した。学術誌の査読も行った。		
管理運営	0.10	①朝夕の病棟回診 ②外来診療業務, 神経グループコンサルト対応 ③感染対策実務者会議参加			0.10	①朝夕の病棟回診を滞りなく行った。②外来診療業務を滞りなく行った。コンサルト対応は若手医師とともに行い、グループ全体の診療の質向上に努めた。③感染対策実務者会議は確実に出席し、得られた情報を医局員と共有した。		
進路指導	0.10	①医員の日本内科学会認定医取得支援・指導 ②医員の神経学会神経内科専門医の取得支援・指導 ③医員の日本脳卒中学会専門医取得支援・指導			0.10	①②③医員の日本脳卒中学会専門医取得支援・指導を1名行い、専門医を取得した。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊禮 靖苗	所 属		第一外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.15	①医学部の学生に対して、講義を担当する。②5-6年生の臨床実習においてベッドサイドおよびレクチャーでの教育指導を行う。抄読会またはレポート作成の指導を行う。		0.15	医学部の学生に対して、講義を担当した。5-6年生の臨床実習においてベッドサイドおよびレクチャーでの教育指導およびレポート作成の指導を行った。			
研究	0.25	①主に消化器外科についての臨床研究成果をまとめ学会発表する。②論文を執筆する。		0.25	日本大腸肛門病学会にて発表をおこなった。論文を執筆中である。			
社会貢献	0.10	①地域の病院で総合内科および消化器外科に関する技術を用いて地域医療に貢献する。②所属する学会で積極的に発表、講演会に参加し、外科学の進歩に貢献する。		0.10	学会発表および講演会に参加し、知識を得た。			
管理運営	0.10	①医学部附属病院の各種委員会に参加し、管理運営に貢献する。		0.05	レジメン審査委員会に参加, レジメン議題を提示した。			
進路指導	0.10	①研修医に対し、チューターとして仕事に関する日頃の悩みや、将来の進路の相談役となるよう努める。		0.10	研修医に対し、チューターとして仕事に関する日頃の悩みや、将来の進路の相談役となるよう努めた			
診療	0.30	医学部附属病院で消化器外科における手術、検査、外来、病棟管理に従事する。中でも患者さん、家族によりわかりやすい説明を行うよう努める。		0.35	医学部附属病院で消化器外科における手術、検査、外来、病棟管理に従事し中でも患者さん、家族によりわかりやすい説明を行うよう努めた			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		金城達也	所 属		消化器・腫瘍外科学講座
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	医学部医学科の学生に対して:画像を取り入れた視覚に訴える講義を行う。シミュレーション器材を利用した外科手技実習を行う。 初期研修医に対して:基本的な外科知識・手技の獲得の指導を行う		0.20	達成できた。
研究	0.25	他の教員と共同で、消化器外科学領域の研究成果を学会などで発表する。1編以上の論文を執筆し、発表する。医局員の専門医取得に関連する論文執筆指導を行う。獲得した競争的研究資金をもとに継続的な臨床研究を行う。		0.20	研究成果の発表は達成できなかった。その他は達成できた。
社会貢献	0.05	医療行政に関連する行事に参加し、自らの専門知識によって地域医療に貢献する。		0.00	達成できなかった。
管理運営	0.10	医学部、医学部附属病院の各種委員会に参加して管理運営に貢献する。		0.10	達成できた。
進路指導	0.10	臨床実習でローテートしてくる学生に授業・実習の履修状況を聴取し、適切な指導を行う。卒後の進路について学生自ら進路決定を適切に判断出来るように助言をおこなう		0.15	達成できた。
診療	0.30	患者さまの診療について、特に消化器外科学会について、学会、研究会などを通じて最新の情報の獲得、手術技術の研鑽を継続的にを行い、各診療科、各部門と連携しながら最適な診療の提供につとめる。		0.35	達成できた。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		国仲 弘一	所 属	附属病院第一外科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.05	研修医への講義・実技指導。医学部学生、大学院生への講義。病棟実習生への指導・講義。		0.05	目標を達成できた。	
研究	0.10	乳がん、甲状腺疾患に関する研究。学会発表及び研究発表。		0.10	目標を達成できた。	
社会貢献	0.05	地域での講演活動や研究会、患者会への出席。		0.05	目標を達成できた。	
管理運営	0.05	病院運営に関する各種会議への参加。		0.05	目標を達成できた。	
進路指導	0.05	研修医、学生への進路指導。		0.05	目標を達成できた。	
診療	0.70	乳がん・甲状腺疾患の診療		0.70	目標を達成できた。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	稲福 斉		所 属	第二外科	
職 名	講師				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	1. 学生に対する講義(M2, M3); 心臓・大血管の奇形。重症心不全に対する補助人工心臓治療。2. 臨床実習学生に対する臨床実習指導(心臓手術における術前、術後管理、心臓カテーテル検査方法、レポート作成)。各グループへのミニ講義を行う。		0.15	1. 心不全に対する外科治療(M3)、臨床奇形学(心臓・大血管の奇形)、補助人工心臓治療(M5)の講義を行った。総合試験問題、追試問題作成(M5)を行った。2. 臨床実習学生に対する指導(心臓手術の術前術後管理、心臓カテーテル検査方法、レポート作成)を行った。
研究	0.30	1. 臨床研究: ① 高齢大動脈弁疾患に対する自己心膜を用いた大動脈弁形成術に関する研究。② 重症心不全に対する 植え込み型補助人工心臓治療に関する研究。③ hANP+サムスカによる利尿効果と腎保護について臨床研究を行う。2. 各種学術集会への参加、発表。		0.20	1. ① 同手術を4例に行った。② 植え込み型補助人工心臓手術を3例に施行した。発表3回(第4回沖縄心不全研究会、第8回九州心不全の外科治療研究会、第52回日本人工臓器学会大会)。2. 門脈血行異常症に関する調査研究のH26年度班会議に出席し発表した(H26.11.14)。第34回日本静脈学会、第42回 日本血管外科学会学術総会で発表した。
社会貢献	0.10	心臓移植を目指した植え込み型補助人工心臓治療を社会的に認知されるよう啓蒙活動を行う(研究会開催、医療施設へ出向いて講演を行う)。		0.20	第4回、第5回沖縄心不全研究会を開催した。
管理運営	0.05	各委員会への参加(心臓移植適応委員会、植え込み型補助人工心臓適応委員会)		0.10	第3, 4, 5回琉球大学心臓移植適応委員会、植え込み型補助人工心臓適応委員会への資料作成
進路指導	0.05	1. 初期研修医に対する進路指導。2. 医学部学生への進路指導		0.10	1. 研修医に対する進路相談を行った。2. 医学部学生に対する進路指導を行った。
診療	0.30	1. 心臓血管外科疾患領域患者への外来診療、2. 心臓血管外科疾患への手術、周術期管理		0.25	1. 週1回の外来診療を継続した。2. 執刀医として46例の心臓血管外科手術を行い、周術期管理を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		照屋孝夫	所 属	医学部附属病院 第2外科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.15	M5/M6/研修医に対し、症例をとおして呼吸器外科領域の診療を指導する。研修医には医療行為を経験させることで実地医療を指導し、学生にはレポート作成を行ってもらうことで教育的指導を行う。		0.15	症例をとおして呼吸器外科領域の診療を指導しているが、十分な時間をかけられているか疑問である。M5/M6/研修医に対しミニ講義を行っている。M3に臨床講義を行った。	
研究	0.10	呼吸器外科に関する臨床症例検討を行い、全国学会での発表(2回/年)、論文作成(1編/年)を目標とする。		0.10	日本呼吸器外科学会/肺癌学会/臨床外科学会総会、日本胸部外科学会地方会、沖縄県医師会総会/外科会での発表を指導した。論文作成を指導している。	
社会貢献	0.10	県の呼吸器がん検診・登録事業の協議会に参加しており肺癌等の早期発見を目指す。次世代の呼吸器外科医を育成していくこと。沖縄県がん地域連携クリティカルパスの普及に努める。		0.10	沖縄県がん地域連携クリティカルパス肺がん部門での統括にあたった。沖縄県呼吸器のがん検診分科会への参画。院内がん登録委員会への参画。	
管理運営	0.10	手術件数を前年度よりも増やす。OSCEの指導、審査。救急部運営協議会・材料部運営協議会・医薬品安全管理専門委員会の委員。医師キャリアセンターのスタッフ		0.10	紹介元への返書を徹底した。各委員会への参画。大学入試センター試験の救急担当医師。	
進路指導	0.05	医局のチューターとして指導する。後期臨床研修進路説明会で医局の紹介を行う。親身になり、個々に応じた助言をする。楽な方ではなく、やりがいのある方へ。		0.10	医局長として、医局員・研修医・学生に助言した。	
診療	0.50	患者さんに最良の治療(診断のための検査/治療方針の決定/手術)を提供できるよう最善をつくす。		0.45	呼吸器カンファレンス等に積極的に参加し、個々の症例に対し最良の治療を提供するよう努めた。全国学会・セミナーに参加し最新の知見を得るよう努めた。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		永野 貴昭	所 属		第二外科
職 名				助教	
領域	業務 ウェイト 比(予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	学生への講義の際に、胸部心臓血管外科領域への興味を持てる魅力ある内容を心がける。学年に応じて医師国家試験対策(既出問題の解答・解説を行う等)を行う。		0.20	学生講義の際に、現状の手術治療に関する最新のデータを提供することはできた。新しく改訂されたガイドラインをもとに試験問題を作成し、国家試験への対応とした。ベツサイドレクチャーに関しては、ステントグラフト(説明用)を実際にデモンストレーション形式にて行い、手術術式への理解を深めることができた。手術中にも、実際の術中画像・使用デバイスを使用し、
研究	0.10	1) 解離性大動脈瘤に対する胸部ステントグラフト治療の有用性の検討(国内学会・国際学会で筆頭および共著で報告する。 2) 胸部・胸腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療における術中MEP検査の意義および有効性についての研究(論文作成を行う)。		0.10	引き続き術中データを集積・解析を行い、全国主要学会への発表を行った。今後、論文投稿予定である。
社会貢献	0.10	大動脈ステントグラフト内挿術の最新情報および経カテーテル大動脈弁置換術に関する公開講座・研究会等を積極的に行う。		0.10	県民公開講座および学会にて血管内治療および経カテーテル大動脈弁置換術に関する最新情報を提供した。
管理運営	0.20	1) 本年度開始予定の経カテーテル大動脈弁置換術を安全かつ潤滑に施行できるよう万全の態勢を整える。 2) PET有効活用に関して、積極的に働きかける。		0.20	1) 経カテーテル大動脈弁置換術への導入に向け、ハートチームを結成し、施設・設備の万全な体制を整えた。 2) PET有効活用において、診療科スタッフへの周知を行い、検査実施に寄与できた。
診療	0.40	手術件数増加へ向けての活動、および最新技術(経カテーテル大動脈弁置換術等)の導入を行う。		0.40	ハイブリッド手術室導入により、より安全かつ高度な血管内治療ステントグラフト治療手術が可能となった。更に開胸・開腹手術とのコラボレーションすることで、有効活用できた。平成27年度の経カテーテル大動脈弁置換術導入への準備を行っている。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		渡邊 孝		所 属		脳神経外科		職 名		講師	
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.10	脳神経外科学講義、救急医療系講義、研修医レクチャーを通じて、脳神経外科領域における基礎的で実践に役立つ知識の習得を目指して指導を行う。				0.10	脳神経外科学講義、救急医療系講義、研修医レクチャーを通じて、脳神経外科領域における基礎的で実践に役立つ知識の習得を目指して指導を行った。				
研究	0.20	現在進行中の研究テーマ 1)髄膜腫におけるグルタミン酸受容体の発現、サブユニットの構成様式と病理学的所見、臨床的所見との関連について解析し、研究結果を発表。2)安全で確実性の高い術中神経モニタリング法の開発。3)神経内視鏡手術の発展に向けた手術機器の開発 について研究成果を報告する。				0.20	左記の研究テーマに関しては、現在進行中である。				
社会貢献	0.05	クリニカルシミュレーションセンターにおいて、脳神経外科医を目指す研修医、学生に対して、脳神経外科手術における基本手技の習得を目的とした手術手技習得コースを開催する。				0.05	クリニカルシミュレーションセンターにおいて、脳神経外科医を目指す研修医、学生に対して、脳神経外科手術における基本手技の習得を目的とした手術手技習得コースを開催した。				
管理運営	0.10	リスクマネージャーとして、病棟の安全対策、危機管理運営を行う。救急部運営委員として、救急部の運営に関与する。輸血療法委員として、血液製剤の適正利用に向けた活動を行う。卒後研修センターでは、有意義な初期研修が行われるよう活動する。				0.10	リスクマネージャーとして、病棟の安全対策、危機管理運営を行っている。救急部運営委員として、救急部の運営に関与している。輸血療法委員として、血液製剤の適正利用に向けた活動を行っている。卒後研修センターでは、有意義な初期研修が行われるよう活動した。				
進路指導	0.05	脳神経外科医を希望する学生に対しては、卒後に有効な研修ができるように研修コースを提示して進路指導を行っていく。				0.05	脳神経外科医を希望する学生に対しては、卒後に有効な研修ができるように研修コースを提示して進路指導を行った。				
診療	0.50	安全で確実な治療を行うことを第一目標とする。神経内視鏡を用いた経蝶形骨洞手術、頭蓋底手術を実践し、治療成績向上を目指す。				0.50	安全で確実な治療を行うことは達成されている。神経内視鏡を用いた経蝶形骨洞手術、頭蓋底手術の治療成績は向上している。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		菅原健一	所 属	医学部附属病院 脳神経外科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.10	学生、研修医、大学院生の教育指導を行う。		0.10	臨床実習生(ポリクリ、クリクラ)の外來実習、病棟実習、手術実習の指導を行った。医学部3年生に対し神経医学系講義を行った。初期臨床研修医および大学院生の指導を行った。	
研究	0.25	悪性神経膠腫に関する臨床的および基礎的な研究を行い、学会での報告発表、学会誌への発表を行う。		0.25	脳腫瘍について臨床的な研究を行った。悪性神経膠腫に関し、第32回日本脳腫瘍学会学術集会にて「先天性第XI因子欠損症を合併した中心前回膠芽腫の一例」という演題名で発表を行った。また商業誌に執筆を行った。	
社会貢献	0.05	関連病院における診療を通じて地域医療へ貢献する。		0.05	関連病院において外來診療を行い、地域医療に貢献した。	
管理運営	0.05	医療材料検討委員会、クリニカルパス実施推進委員会の委員、教育連絡主任として病院および医学部の運営に貢献する。		0.05	医療材料検討委員会委員、緩和ケアセンター連絡会議委員、クリニカルパス実施推進委員会委員、教育連絡主任として病院および医学部の運営に貢献した。	
進路指導	0.05	学生および研修医の実習において必要に応じて進路指導を行う。		0.05	臨床実習(ポリクリ、クリクラ)、初期臨床研修医および大学院生の指導を行った。	
診療	0.50	医療安全を推進し、患者中心の診療を行う。また、PETやMRIなどの画像診断装置、ナビゲーションシステム・術中MRI・神経機能モニタリングなどマルチモダリティを駆使した高度な脳腫瘍手術を実践する。		0.50	医療安全の推進、患者中心の診療を実践した。術者として28例、助手として18例の手術を担当し、PETやMRIなどの画像診断装置、ナビゲーションシステム・術中MRI・神経機能モニタリングなどマルチモダリティを駆使した高度かつ安全な脳腫瘍手術を提供した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		田村 貴光	所 属		脳神経外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価等の指摘、自らの発意に基づく授業の改善 ・学習相談に関する具体的取組、昨年を省みた上での改善取組 ・研究業績の授業への反映 ・学生からの積極的な意見の聴取 ・教育補助者の有効活用、その資質の向上 			0.20	専攻医、専門医への手術指導、教育:脳神経血管内治療を中心に行い、後輩医師の養成に役立てることができた 附属病院での臨床業務を通して、医学生への臨床教育を行い、医師養成に役立てることができた		
研究	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・学会誌への投稿、発表 ・学会での報告発表 ・学会賞等の受賞 ・学会での役割、活動 ・所属部局以外との共同研究 			0.25	学会誌への投稿:Journal of NeurosurgeryへCase report 2編投稿済み、第30回日本脳神経血管内治療学会、第73回日本脳神経外科学会、第26回日本頭蓋底外科学会で発表		
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学外の各種調査、研究会等への参画 ・教育臨床としての具体的取組 ・生涯学習への貢献 ・国際貢献、地域貢献、産業支援としての具体的取組 			0.10	沖縄脳卒中フォーラム、第37回沖縄IVR学会、第1回沖縄脳卒中診断・治療セミナーへ参加し症例報告		
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・全学的委員会での具体的貢献 ・所属部局における委員会での具体的貢献 ・所属学科等の管理運営における具体的貢献 ・入試関連業務における具体的貢献 			0.10	OSCEでの試験官、大学入試2次試験での試験官を行いました		
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導のための具体的取組 ・就職支援のための具体的取組 			0.10	左記目標内容はあまり充実できていない		
診療	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・診療活動及び医療支援など 			0.25	主に脳神経血管内治療技術を用いて、頸動脈病変、頭蓋内脳血管病変、多血性脳腫瘍における血管内治療を行った		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		宮城智央	所 属		脳神経外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.05	医学科4年生へ担当の講義(救急医療系:意識障害)が予定されている。2週間毎に臨床実習を受ける医学科5年生に担当範囲のレクチャーを継続して行い、また、医師国家試験についても継続して助言を行っていく。脳血管シミュレーションを医学科5、6年生へ昨年度同様に毎週行う。			0.05	脳神経外科専攻医と初期臨床研修医の指導を行った。臨床実習の学生に対して、担当患者について説明した。1~2週間毎に臨床実習を受ける4、5学生に担当範囲の頭部外傷のレクチャーを継続して行い、また、医師国家試験についても助言を行った。医学科4年生へ担当の講義(救急医療系:意識障害)を行った。		
研究	0.10	CTやMRIの術前画像分析などの研究を継続し、これまで同様に県内外での学会発表を継続していく。			0.10	以下の学会発表をした。第73回日本脳神経外科学会学術総会:「3次元CG支援による脳神経外科」。術前シミュレーション3Dや3Dプリンターによる術前シミュレーションの研究をより深化させた。術前シミュレーション3Dの方法について同僚へ提供した。		
社会貢献	0.05	これまで通り、南部徳州会病院での脳神経外科外来を主に継続して行い、地域病院を支援してく。			0.05	定期的に南部徳州会病院の脳神経外科外来を行い、また、臨時的に東部クリニックの脳神経外科外来、大道中道病院の当直を行い、地域病院を支援した。		
管理運営	0.05	脳神経外科外来にて外来医長としての職務を務めていく。感染対策実務者会議などこれまで同様に継続していく。その他、各種会議について代理出席にて補助していく。			0.05	脳神経外科外来にて外来医長としての職務を務めた。感染対策実務者会議にての資料を医局にて配布していった。病院情報管理システム更新手術ワーキングサプリーダー、MRI対応脳波計測システム仕様策定委員などの各種委員を務めた。		
進路指導	0.05	2週間毎に臨床実習を受ける学生に対して、毎回、脳神経外科学会のパンフレットをこれまで同様に配布し説明する。脳外科医局の研修会説明会をこれまで同様に開催し、全体研修説明会へも参加する。			0.05	2週間毎に臨床実習を受ける学生に対して、毎回、脳神経外科学会のパンフレットをこれまで同様に配布した。		
診療	0.70	日々の入院、手術、外来、当直、救急の業務を怠りなく、より安全で確実に継続して行っていく。病院運営改善案について提出要請があれば、これまで通り対策案を提議していく。			0.70	日々の入院、手術、外来、当直、救急の業務を安全に行い、医療過誤や訴訟なく業務をなした。外来医長として新患者の増加・対応に努力した。		
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		前原 博樹	所 属		整形外科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.15	医学生に対する骨軟部腫瘍領域の講義 授業の見直し(学生の意見を取り入れながら)		0.10	講義およびポリクリ講義において、骨軟部腫瘍の講義を行ったが、学生の意見は十分取り入れ改善している段階			
研究	0.15	学会での報告発表、外部資金の獲得、他大学との共同研究、他施設共同研究		0.10	国内、国外において研究結果を報告できた。外部資金の獲得はできなかった。			
社会貢献	0.05	啓蒙活動(医療従事者)、教育講演(一般)		0.10	県外で医療従事者向けに講演を行った。、一般向けには達成できなかった。			
管理運営	0.10	骨軟部腫瘍ミーティングの開催(病理医、放射線科医)、レジメン委員会		0.20	病理医を含めたconferenceを西日本整形外科災害外科学会に付随する腫瘍懇話会にて開催した。			
進路指導	0.05	医学部卒業予定者、研修医に対する進路説明会		0.05	医局説明会等を通して、進路についてアドバイスを与えることができた。			
診療	0.50	診療活動		0.45	通常通りこなせた。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		大城義竹		所 属		琉球大学医学部附属病院整形外科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.20	ポリクリや臨床講義などに力を入れていきたい				0.20	ポリクリや臨床講義を十分に達成できた				
研究	0.10	臨床研究では本年度1回の学会発表、論文作成が目標				0.20	個人での学会発表はできなかったが、共同演者としての協力はできた。				
社会貢献	0.10	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい				0.10	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい				
管理運営	0.20	当医局の医局運営や助教として病院全体の管理運営に役に立てるようにになりたい				0.10	当医局の医局運営や助教として病院全体の管理運営に関わることができた				
進路指導	0.20	学生の進路指導を行いたい。具体的に整形外科の役割などを説明してゆきたい				0.20	ポリクリ、クリクラを通して整形外科の役割などを説明し、進路について考えてもらった。				
診療	0.20	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい				0.20	手術、外来を例年通り行えた。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	久高 亘		所 属	大学院医学研究科 環境長寿医科学 女性・生殖医学講座		職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・医学科学生臨床実習指導を充実させる。実習を通して医学・医療に関する理解を深めさせる。 ・当科診療マニュアルによる医局員教育の実施 ・医学研究科大学院生1人の研究指導 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・医学科学生について臨床実習を通して医学・医療に関する教育を行った。 ・卒後教育について当科診療マニュアルを活用し理解を深めさせた。 ・医学研究科大学院生の研究指導は十分ではなかった。 		
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人科腫瘍関連の各臨床研究(NRG, JGOG, JCOG)に参加する。国内・外の婦人科腫瘍関連各学会への出席、演題発表を行う。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人科腫瘍関連の各臨床研究(NRG, JGOG, JCOG)について、症例登録を行い参加した。第66回日本産科婦人科学会学術講演会、第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、第52回日本癌治療学会学術集会、15th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Societyへの出席、演題発表を行った。 		
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄産科婦人科学会での学会・研修会企画運営 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄産科婦人科学会での学会・研修会企画運営を行った。 		
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・医局長として、医局運営に貢献する。 ・外来化学療法連絡会議副委員長として、外来化学療法の管理・推進に貢献する。 ・機能画像診断センター経営管理委員会、がんセンターボード委員会、保険診療・DPC委員会の各委員として貢献する。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・医局長として、円滑な医局運営を行った。 ・外来化学療法連絡会議副委員長として、外来化学療法の管理・推進に貢献した。 ・機能画像診断センター経営管理委員会、がんセンターボード委員会、保険診療・DPC委員会の各委員として各会議に出席し管理運営を行った。 		
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・研修病院選択への助言 ・医学博士号取得の勸奨 ・サブスペシャリティー専門医取得の勸奨 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・後期研修医に対する研修病院選択への助言を行った。 ・医局内の医学博士号未取得者へ、博士号取得の勸奨を行った。 ・サブスペシャリティー専門医取得の勸奨を行った。 		
診療	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・手術件数、外来化学療法数の増加を図る。 ・外来、病棟診療体制の再構築を行う。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・手術件数、外来化学療法施行数が増加した。 ・外来診療の効率化を図った。病棟診療体制について業務分担見直しを行った。 		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
<p>※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。</p>				<p><input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。</p>			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		玉城邦人	所 属		小児科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	医学部学生、研修医、コメディカル職員に対して臨床手技および疾患について説明・指導する。系統講義に参加する。			0.20	系統講義を実施したが、病棟での教育的指導は不十分であった。		
研究	0.10	学会参加を通じて新たな知見の獲得を図る。			0.10	県外学会にも参加し、発表を行った。		
社会貢献	0.00				0.00			
管理運営	0.10	副病棟医長として病棟管理業務を補佐する。			0.20	病棟管理業務の他、委員として臓器移植マニュアルの整備に携わった。		
進路指導	0.00				0.00			
診療	0.50	主に病棟・外来における診療業務に携わる。			0.50	外来診療を中心に行ったが、病棟診療に関しては十分には行えなかった。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		浜田 聡		所 属		骨髓移植センター		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.10	看護師および医学生に対する小児移植医療における講義				0.10	血液腫瘍・骨髓移植チーム(研修医およびコメディカル)に向けて定期的に勉強会を開催した。				
研究	0.20	科学研究費応募申請中。骨髓移植センターにおいて移植合併症の病態解明に関する研究				0.30	造血細胞移植後の慢性GVHDに關与する免疫担当細胞の解析および免疫再構築のモニタリングを確立するための予備実験を行っている。				
社会貢献	0.00					0.05	骨髓バンクコーディネートとしての活動を月に2-3回行っている。				
管理運営	0.00					0.05	院内輸血療法委員として活動。				
進路指導	0.00					0.00					
診療	0.70	難治性小児悪性腫瘍(血液、固形)に対する免疫療法としての造血細胞移植の成績向上をめざす。				0.50	臍帯血を用いた悪性・非悪性疾患に対する安全な造血細胞移植を実施できる前処置レジメを確立するため症例を蓄積中。、あた長期フォローアップ外来を充実させ、患者のQOL改善に貢献する。				
計	1.00					1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		山本 雄一	所 属		医学部附属病院
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト 比(実 績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	医学科学生の臨床系統講義、医学科臨床実習生の指導・教育、看護師の指導・教育、研修医・研究生・医員の指導・教育。組織検討会を行い、皮膚病理学指導、学会発表の指導を行う。		0.20	学部学生の講義を行った。臨床研究学生に対して臨床を指導した。組織検討会を行い、皮膚病理学を指導し、学会への発表の指導を行った。
研究	0.20	沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。南九州合同地方会・日本皮膚科学会沖縄地方会への参加・発表。皮膚科学会雑誌への論文投稿。依頼論文の投稿。		0.20	沖縄県皮膚科勉強会、地方会へ参加した。依頼原稿を執筆した。
社会 貢献	0.10	沖縄県他施設での外来診療・手術。		0.10	沖縄県他施設での外来診療、手術を行った。
管理 運営	0.10	がん部会、クリニカルパス実施委員、病理部運営協会委員、医療材料検討委員等の委員会への出席。		0.10	がん部会、クリニカルパス実施委員、病理部運営協会委員、医療材料検討委員等の委員会へ出席した。
進路 指導	0.10	医学部学生・研修医への進路指導を行う。		0.10	医学部学生・研修医への進路指導を行った。
診療	0.30	大学病院での外来・入院・手術診療。		0.30	大学病院での外来・入院・手術診療を行った。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		園崎 哲	所 属		琉球大学医学部附属病院	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.15	医学科学生への臨床系統講義による教育。医学科臨床実習生への病棟での教育。研修医への皮膚科学の教育。		0.15	沖縄県その他施設での外来診療にも従事し、手術も施行した。また、市民公開講座の開催にあたって開催者側として従事した。			
研究	0.10	第112回日本皮膚科学会総会への参加・発表。沖縄地方会での発表。角化症研究会への発表。学会雑誌への論文発表。オロパタジンの臨床治験実施。		0.15	日本皮膚科学会西部支部学術大会、角化症研究会、岡山地方会、沖縄県地方会での発表を行った。			
社会貢献	0.10	沖縄県他施設での外来診療・手術。市民公開講座の開催、運営。		0.20	沖縄県その他施設での外来診療にも従事し、手術も施行した。また、市民公開講座の開催にあたって開催者側として従事した。			
管理運営	0.25	感染対策実務者としての管理運営。		0.10	感染対策委員として、院内感染発生状況の報告や病棟での感染対策について指導した。			
進路指導	0.10	医学部学生への進路指導。研修医への進路指導。		0.10	医学部学生、研修医に対して、皮膚科領域の診療内容の説明と、進路選択に対して指導を行った。			
診療	0.30	大学病院における外来診療や入院患者診療。関連施設での外来診療		0.30	大学病院における外来診療と、自科・他科入院患者の診療に従事した。関連施設での外来診療にも従事した。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		林 健太郎		所 属		医学部附属病院皮膚科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.15	医学部学生への臨床講義。医学科臨床実習生、研修医への指導・教育。				0.15	医学部学生への臨床講義。医学科臨床実習生、研修医への指導・教育。				
研究	0.15	沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。日本皮膚科学会・日本皮膚外科学会、皮膚悪性腫瘍学会への参加。学会雑誌への論文発表。				0.15	沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。日本皮膚科学会・日本皮膚外科学会、皮膚悪性腫瘍学会への参加。学会雑誌への論文発表。				
社会貢献	0.10	各種市民公開講座の開催、運営、講演。県立宮古病院をはじめとする、沖縄県内他施設での診療。沖縄県特有の皮膚疾患の診療。				0.10	各種市民公開講座の開催、運営、講演。県立宮古病院をはじめとする、沖縄県内他施設での診療。沖縄県特有の皮膚疾患の診療。				
管理運営	0.10	がん部会・レジメン委員会等での会議・運営および日常診療への反映。				0.10	がん部会・レジメン委員会等での会議・運営および日常診療への反映。				
進路指導	0.10	医学部学生・研修医への進路指導。				0.10	医学部学生・研修医への進路指導。				
診療	0.40	附属病院における手術・外来診療・入院患者診療。				0.40	附属病院における手術・外来診療・入院患者診療。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		新嘉喜 長	所 属		医学部附属病院	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.10	医学部学生への講義。学生、研修医への指導・教育		0.10	医学部学生への講義、クリクラ学生や研修医の指導を行った。			
研究	0.10	皮膚科学会、地方会、勉強会での発表、参加。		0.10	皮膚科学会、地方会へ参加した			
社会貢献	0.10	在宅褥瘡セミナーの開催。他施設での診療。		0.10	在宅褥瘡セミナーを開催した。他施設での診療を行った。			
管理運営	0.10	外来医長、褥瘡委員会の運営、管理を行う。		0.10	外来医長、褥瘡委員会の運営、管理を行った。			
進路指導	0.10	医学部学生、研修医への進路指導。		0.10	研修医への進路指導を行った。			
診療	0.50	大学病院での入院、外来診療。		0.50	大学病院での入院、外来診療を行った。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
<p>※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。</p>				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		呉屋 真人	所 属	泌尿器科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	1. 医学部学生に対する泌尿器科の基本的検査や尿路系疾患に関する臨床講義。2. 臨床実習医学生に対する、病棟、外来、手術室での指導および尿路悪性腫瘍領域における最新内容のクルズスを行う。		0.20	1. 医学部4年生にたいし、『泌尿器科領域の基本的診察と検査』、『腎血管疾患』に関する臨床講義を実施 2. 医学部5年生、6年生の臨床実習において、病棟、外来、手術室において、直接指導を行うと同時に、最新の臨床情報を含む小講義を行った。	
研究	0.20	1. メジャーな学会において臨床研究の発表を行う。2. 珊瑚状腎結石にたいする効果的治療法の確立。3. 英語論文を最低1編投稿する。4. 競争的科学研究費を最低1件取得する。5. 沖縄県泌尿器科EBM研究会の事務局としてAll Okinawaの研究をサポートし、英語論文の作成を促進する。		0.20	1. 日本泌尿器科学会総会において、当科の臨床経験を交えて、泌尿器科専門医、非専門医にたいし『陰茎癌』の診断治療に関する卒後教育講演を行った。2. 当科での、難治性腎結石に対する治療法を改良、実施し、これらを泌尿器内視鏡学会において報告した。当初予定の論文の作成にはいまだ至っていない。	
社会貢献	0.10	1. 沖縄県の腎機能障害の自立支援医療(更生医療)の医学判定等の嘱託医。2. 前立腺がん地域連携パスの県内普及のため、かかりつけ医への登録を促し、勉強会の立ち上げを企画。3. 看護学校での泌尿器科学講義		0.10	1. 沖縄県の腎機能障害に関する更生医療の医学判定等の嘱託医を1年間つとめた。2. 前立腺がん地域連携パスに関する研究会を、泌尿器科専門医、非泌尿器科医の勤務医やかかりつけ医を対象に実施した。	
管理運営	0.05	栄養サポート運営委員会、輸血療法委員会、キャンサーボード、病院経営改善委員会、薬事委員会、病院再整備ワーキンググループ、医局会議等への参加		0.05	栄養サポート運営委員会、輸血療法委員会、キャンサーボード、病院経営改善委員会、薬事委員会、病院再整備ワーキンググループ、医局会議へ参加した。	
進路指導	0.05	医学科の指導教官として、学習および生活面の諸々のアドバイスを行なう。		0.05	医学科5年生、6年生の臨床実習において、直接的指導医として学習および生活面におけるアドバイスや指導を行った。	
診療	0.40	入院、外来患者数の増加: 自身が中心になり平成26年3月に施設認定基準をクリアした腹腔鏡下前立腺摘除術手技の安定実施を目指す。尿路悪性腫瘍にたいし、手術療法のほか化学療法、分子標的療法による治療と全身管理を実施。		0.40	1. 腹腔鏡下前立腺全摘除術を本格的に開始し、19例実施した。現在、術者の育成のための指導を行っている。2. 化学療法や分子標的治療の実施や患者管理に加え、新規前立腺癌治療薬の導入を行った。3. 難治性腎結石に対する内視鏡手術を積極的に行った(10例)	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		仲西 昌太郎		所 属		泌尿器科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.20	OSCE担当や学生講義、試験問題作成などを行っていく。				0.20	OSCEでは医療面接の担当教官を行った。また、学生の総合試験問題作成や学生講義を担当した。				
研究	0.20	大学院生として臨床上の疑問点を解決すべく基礎研究を行う。				0.20	大学院生として臨床上の疑問点を解決すべく基礎研究を実施。				
社会貢献	0.00					0.00					
管理運営	0.00					0.00					
進路指導	0.00					0.00					
診療	0.60	日常業務である、外来検査や病棟管理、手術など積極的に行っていく。				0.60	日常業務である、外来検査や病棟管理、手術など積極的に実施した。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		玉城 光由	所 属		泌尿器科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.10	医学実習生に積極的にかかわる		0.10	ポリクリの学生への指導 クリクラの学生への指導
研究	0.10	臨床研究を中心にする		0.10	学会発表
社会 貢献	0.00			0.00	
管理 運営	0.00			0.00	
進路 指導	0.00			0.00	
診療	0.80	病棟チーフとして自覚を持って安全を考慮し診療にあたる		0.80	1年間、病棟チーフとして入院患者をすべて把握し、問題解決の努力をし、数多くの手術に術者として入り、貢献した。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)									
名 前		木村隆		所 属	泌尿器科		職 名	助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.10	学生の教育に積極的に携わり、泌尿器科に興味をもってもらう。			0.10	日常診療などを通じて医学部生への教育にある程度貢献できた。			
研究	0.30	興味のあるテーマをみつけて研究の初期体制を構築する。			0.30	当初の予定より遅れはあるが研究の計画立案に向けて様々な文献を収集することができている。			
社会貢献	0.00				0.00				
管理運営	0.00	与えられた職務を着実にこなす			0.00				
進路指導	0.00	大学院生として研究と臨床をバランスよく充実させる。			0.00				
診療	0.60	チーフを助けて病棟診療を充実させる。腹腔鏡手術など積極的に勉強する。			0.60	病棟チーフの多大な仕事を支援し、安全な医療を遂行できた。手術にも積極的に参加し、技能も向上させた。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		真栄田裕行		所 属		琉球大学医学部附属病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科		職 名		講師	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.20	学部生に対する耳鼻咽喉科一般の系統講義 臨床実習生に対する診察、検査、手術手技等の実技指導 当科所属の研修医、大学院生に対する臨床実技指導、あるいは実験、研究指導、または医局員に対する総合的指導				0.15	学部生に対する耳鼻咽喉科一般の系統講義 臨床実習生に対する診察、検査、手術手技等の実技指導 当科所属の研修医、大学院生に対する臨床実技指導、あるいは実験、研究指導、または医局員に対する総合的指導				
研究	0.30	低酸素環境下における癌生物学的特質の変化に関する研究(病理共同)頭蓋底疾患に対する手術手技の修練 外部資金の獲得 学会発表および学術誌への投稿				0.10	低酸素環境下における癌生物学的特質の変化に関する研究(病理共同)頭蓋底疾患に対する手術手技の修練 外部資金の獲得 学会発表および学術誌への投稿				
社会貢献	0.10	看護学校等における講義 耳の日、鼻の日など一般を対象とした講演や相談会				0.05	看護学校等における講義 耳の日、鼻の日など一般を対象とした講演や相談会				
管理運営	0.10	医局長としての医局運営、管理				0.40	医局長としての医局運営、管理				
進路指導	0.10	医局員あるいは学部生に対する将来設計、進路相談				0.05	医局員あるいは学部生に対する将来設計、進路相談				
診療	0.20	頭頸部癌患者に対する集学的治療				0.25	頭頸部癌患者に対する集学的治療				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前		上原 貴行		所 属	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.15	病院実習(ポリクリ)学生に対する教育、指導		0.15	病院実習(ポリクリ)学生に対する教育、指導		
研究	0.25	頭頸部癌に対するHPV樹状細胞ワクチン開発に関する研究(H26年度科研費助成研究) 各種学会発表など		0.20	頭頸部癌に対するHPV樹状細胞ワクチン開発に関する研究(H26年度科研費助成研究) 各種学会発表など		
社会貢献	0.05	琉大病院内の各種運営会議		0.10	琉大病院内の各種運営会議		
管理運営	0.05	大学入試監督官業務等		0.05	大学入試監督官業務等		
進路指導	0.00			0.00			
診療	0.50	病棟、外来、手術業務、当直対応など		0.50	病棟、外来、手術業務、当直対応など		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		長谷川 昌宏	所 属		医学部附属病院 耳鼻咽喉科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.05	医学生に対し、講義・実習指導を行い、耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の理解の援助を行う。市民講座(耳の日・鼻の日)を開催し、一般への啓蒙を図る。		0.05	医学生に講義・実習を行い、耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の理解を促し、将来の人材育成を行った。市民講座(耳の日)を行った。沖縄県民の健康公開講座を行った。
研究	0.06	耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域で、沖縄県に特徴的なウイルス疾患・頭頸部腫瘍につき、研究を行う。学会での報告および学会誌への投稿を行う。科学研究費の助成をうけて研究を行っている。さらに発展させた研究による助成の申請を行う。		0.06	研究テーマにつき学会発表を行った。
社会貢献	0.05	専門分野である耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の診療で、治療成績・患者満足度の向上を目指す。臨床成績の向上が、直接社会貢献につながると考える。		0.05	臨床統計により、中咽頭癌の治療成績の向上を確認した。臨床成績の向上が、社会貢献につながっていると考えた。
管理運営	0.02	入院期間の短縮につとめ、経費削減を目指す。		0.02	短期入院手術を積極的に進めている。特に鼻科手術については、昨年度に比較して、さらに短縮となっている。頭頸部癌診療においても入院の短縮を図った。
進路指導	0.02	医学生に対し、頭頸部外科学領域診療・研究の重要性につき指導する。耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の後継者を育成する。		0.02	後継者を育成している。
診療	0.80	専門分野である耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の診療で、治療成績・患者満足度の向上を目指す。特に、他県に比較して多い頭頸部癌についての治療成績の向上、より効果的な治療の方法の開発を目指す。また、鼻科領域で低浸襲手術や、短期入院の検討をする。		0.80	臨床統計により、中咽頭癌の治療成績の向上を確認した。内視鏡下頭蓋底手術を脳神経外科と協力し行っている。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		江夏 亮	所 属		眼科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	眼科外来、眼科病棟、眼科医局にて眼科医師、臨床医師として学生、後進に指導、教育する。			0.20	眼科外来、眼科病棟、眼科医局にて眼科医師、臨床医師として学生、後進に指導、教育する。		
研究	0.20	眼科臨床研修、学会発表を行う。			0.10	眼科臨床研修、学会発表を行う。		
社会貢献	0.10	講演会、地方会の準備をする。			0.10	講演会、地方会の準備をする。		
管理運営	0.10	病棟会議、手術場の環境整備、物品管理を行う。			0.10	病棟会議、手術場の環境整備、物品管理を行う。		
進路指導	0.10	眼科医、臨床医として進路指導を行う。			0.20	眼科医、臨床医として進路指導を行う。		
診療	0.30	眼科外来診療および眼科手術執刀に従事する。			0.30	眼科外来診療および眼科手術執刀に従事する。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		千葉 至	所 属		医学部附属病院放射線科
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.10	授業およびポリクリ実習の指導		0.10	予定通り実施できた。
研究	0.10	低酸素PETイメージング薬剤である18F-FAZAの合成や臨床研究への応用		0.10	県の医療基盤活用型クラスター形成支援事業による予算が得られた。
社会貢献	0.10	沖縄県核医学分野のアップデートのため教育研修会や講演会を開催		0.10	核医学懇話会や心臓核医学教育研修会などを開催した。
管理運営	0.20	附属病院の核医学部門やPETセンター、放射線安全委員会などを運営		0.20	予定通り実施できた。
進路指導	0.10	ポリクリ学生の進路指導や進路相談		0.20	説明会や食事会に参加し、予定通り実施できた。
診療	0.40	核医学検査を主とする画像検査やRI内用療法、RI外来の実施		0.30	予定通り実施できた。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊良波裕子	所 属	附属病院放射線科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.15	講義やポリクリ実習にて適切な指導を行う		0.10	人員不足による診療業務増加のため、ウェイト減あるも、ほぼ目標は達成	
研究	0.20	前立腺や女性骨盤臓器のMRIについての研究		0.15	人員不足による診療業務増加のため、ウェイト減あるも、ほぼ目標は達成	
社会貢献	0.05	学会、研究会への参加		0.05	査読のある国際学会への発表・参加をした。国内学会にも複数参加した。	
管理運営	0.05	機器選定や部門材料管理などに携わる		0.00	今年度は対象となる業務なし。	
進路指導	0.05	入試関連業務やOSCE参加など		0.05	センター試験やOSCEを担当	
診療	0.50	読影、血管造影・IVRなどの日常診療業務		0.65	人員不足による診療業務増加負担あり。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		有賀 拓郎	所 属		放射線科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 放射線治療の重要性の教育。 放射線治療の適応の教育。 		0.10	実習の学生より、放射線治療に関して理解が深まったとの発言が多く、一定の目標を達していると考えられる。また、将来の志望科として上がる声が多くなった印象がある。
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 早期子宮頸癌に対する放射線治療の全国集計結果の論文化。 進行食道癌の根治的放射線治療成績の論文化。 前立腺癌全骨盤照射および小線源治療の論文化。 		0.20	子宮頸癌に関しては論文投稿中。食道に関しては現在執筆中。前立腺癌に関しては2015年に国際学会に発表予定。
社会貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 社会に提供可能なサービスの拡大。 市民公開講座などを通して放射線治療の啓蒙。 		0.20	県庁と協力関係を結び、現在高度放射線治療の均てん化事業を推進している。
管理運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 放射線治療のQA/QCの安定化。 		0.20	高精度放射線治療に関して、円滑な運用が可能になった。今後はさらなる適応拡大と業務の迅速化を目標とする。
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 学生、研修医に対する放射線治療の啓蒙。 		0.10	クリニカルクラークシップに移行することで、子宮頸癌の腔内照射などより実臨床に即した教育を行っている。
診療	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 当院での高精度放射線治療の拡大。 小線源治療(子宮頸癌 前立腺癌)の標準化。 放射線治療の適応増加。 		0.20	高精度放射線治療に関しては標準化が進んでいる。小線源治療に関しては担当可能医師が増え、標準化も順調に進んでいる。適応疾患に関しても増加しており、通常照射から高精度治療へと切り替わった症例も多い。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		安部 真教	所 属		麻酔科
職 名				助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	医学部学生・研修医に対し、積極的に実習に参加できるよう、安全に注意を払い丁寧に指導教育を行う。研修医に対し実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導教育する。		0.20	医学部学生、研修医に対し、講義、臨床実習を通して全身管理、麻酔管理、ペインクリニックの教育、指導を行った。超音波や透視室を利用した神経ブロックを指導し、安全に実施することができた
研究	0.10	麻酔、ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する		0.10	ペインクリニック、緩和ケアの症例検討を行った。ペインクリニックに関する論文を作成し審査中である。
社会貢献	0.10	地域関連施設に週一回出向し、関連施設の医師および看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援および技術の還元を行う。		0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。緩和ケア研修会、看護学校でペインクリニック、緩和ケアに関する講義を行った。
管理運営	0.10	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全かつ迅速に運営を行う。外来業務に携わるスタッフと協力し、安全かつ効率的に外来業務を行う。		0.10	手術室看護師、外科系医師と協力し、安全・迅速に手術室運営を行った。外来看護師、スタッフとも協力して運営を行い、大きな問題は生じなかった。
進路指導	0.10	学生および研修医に対し、進路に関する情報を与え指導を行う。		0.10	学生および研修医に対し、積極的にコミュニケーションを図り、今後の進路や現状に関して話し合いを行った。
診療	0.40	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢		0.40	附属病院手術室において、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療の提供に努めた。ペインクリニック外来において痛みの治療を行い、多くの患者でQOLの改善がみられた。院内緩和ケアチームの活動を行い、癌治療に伴う苦痛の軽減を行った。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		大久保 潤一		所 属		麻酔科		職 名		助教	
領域		平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)		平成26年度 年度末自己点検結果			
教育		0.20 学生:術前回診、麻酔導入・維持を見学させ、麻酔の基本を理解してもらい、レポート作成に協力する。研修医:担当症例の麻酔上の問題点と手技を理解させる。抄読会、症例検討会、勉強会の指導をする。学会発表、論文作成の指導をする。				0.20		学生:術前回診、麻酔導入・維持を見学させ、麻酔の基本を理解してもらい、レポート作成に協力した。ペインクリニック外来と緩和ケア回診での学生の指導。			
研究		0.20 ペインクリニック外来、緩和ケアの症例を集めて治療効果を検討し、症例報告や原著論文として報告する。				0.20		ペインクリニック学会での発表。			
社会貢献		0.10 沖縄県内の地域病院で、手術麻酔を担当し、安全な手術管理に貢献する。また出張病院での手術室スタッフ、後期臨床研修医の教育を行う。10月13日の”麻酔の日”には、一般市民に対する啓蒙イベントを開催、運営する。				0.10		県内の地域病院で、手術麻酔を担当し、安全な手術管理に貢献した。			
管理運営		0.10 手術麻酔、ペインクリニック外来、緩和ケア回診での診療を行う。また、月に4-5回程度集中治療部の当直業務を行う。				0.10		手術麻酔、ペインクリニック外来、集中治療部の当直業務を行った。			
進路指導		0.10 医学部実習、研修医へ適切な情報を与え、進路に関する指導を行う。				0.10		医学部実習、研修医の実習を指導した。			
診療		0.30 麻酔業務及び、ペインクリニック外来の診療に従事する。				0.30		麻酔業務、及びペインクリニック外来の診療に従事した。			
計		1.00 ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00		・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		比嘉 達也	所 属	麻酔科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導する。		0.20	医学部学生、研修医に対し、講義、臨床実習を通して全身管理、麻酔管理、ペインクリニックの教育、指導を行った。神経ブロックの説明に骨の模型を用いるなどの工夫を行った。	
研究	0.10	ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する。		0.10	ペインクリニック、緩和ケアの症例検討を行い、ペインクリニックに関して学会発表を行った。	
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。緩和ケア研修会でペインクリニック、緩和ケアに関する講義を行った。	
管理運営	0.10	スタッフとして医局運営に協力する。		0.10	手術室看護師、外科系医師と協力し、安全・迅速に手術室運営を行った。外来看護師、スタッフとも協力して運営を行い、大きな問題は生じなかった。	
進路指導	0.00	教官として学生、研修医の進路指導に関わる。		0.00		
診療	0.50	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて患者を診療し治療する。		0.50	附属病院手術室において、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療の提供に努めた。ペインクリニック外来において疼みの治療を行い、QOLの改善が多くの患者にみられた。院内緩和ケアチームの活動を行い、癌治療に伴う苦痛の軽減を行った。	
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		又吉 亮	所 属		歯科口腔外科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	ポリクリ学生へ医科歯科連携の重要性について、将来連携が取れるように講義を行う。研修医への診療指導。		0.20	おおむね目標達成された。
研究	0.30	英文誌へ投稿。国内学会発表。口腔癌治療に関する多施設共同研究に参加。		0.15	国内学会発表を行った。多施設共同研究については現在倫理委員会にて討議中。英文誌への投稿はできていない。
社会貢献	0.05	講座主催の市民フォーラムなどへの参加。		0.05	目標達成された。
管理運営	0.05	病院内各種委員会に参加(リスクマネジメント、放射線、がん登録、がんセンターボード)し、病院運営に積極的に参加。		0.05	目標達成された。
進路指導	0.05	研修医が大学院進学を目指し、研究活動に興味を持てるように指導。		0.05	おおむね目標達成された。
診療	0.35	外来診療(4日)、病棟診療(1日)。口腔癌診療を中心に歯科外科処置を行う。		0.50	全体のうち診療に占める割合が多くなった。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		後藤 尊広	所 属		歯科口腔外科
			職 名		助教
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	研修医・医員の手術・学会や論文発表の指導。大学での先端医療や研究に興味を持ち、長く医局に在籍・活躍してくれるような若手歯科医師を育てる。		0.05	一部の研修医の学会発表を指導し、研究に興味を持てるような動機付けをおこなった。
研究	0.20	大学院よりテーマとしてきた口唇口蓋裂患者の分子遺伝学的研究や臨床研究を進展させる。具体的には、日本人ならびにラオス人サンプルの収集を行い、口唇口蓋裂発症関連候補遺伝子のSNP typingを行う。そのための研究資金獲得のため各種研究費に申請をおこなっていく。		0.10	科研申請(結果待ち)、学会発表国内1回・海外1回。英文論文作成中で、近日中に投稿予定である。しかしながら、2014年は執筆が1本のみで、論文業績が0であることは大きな反省点である。
社会貢献	0.20	ラオス国における口唇口蓋裂患者チャリティーオペレーション活動への参加。沖縄県における口唇口蓋裂患者家族会結成の支援や市民公開講座の実施。		0.20	12月18日より25日までラオス国でのチャリティーオペレーションに参加した。口唇口蓋裂患者家族会を2回開催、また院外広報や往診を行い、社会貢献をしてきたとは、まずまずの成果であると考えている。
管理運営	0.10	日々の臨床業務におけるコスト意識の向上を図る。特に病床稼働率の向上に対する意識付けを自分ならびに若手歯科医師に徹底指導する。		0.10	年間を通じて臨床業務では常に病床稼働率を意識して取り組んできたが、季節によっては満床状態を保つことができなかった。
進路指導	0.10	自らが、大学院時代に国内・国外留学などを通じてグローバルな研究活動を経験することができた。若手歯科医師に研究活動の楽しさと、達成感を伝え、大学院進学に興味を持つような進路指導をしたいと考えている。		0.05	大学院研究の楽しみは口頭で伝え、また一部の若手の学会発表の指導をおこなったが、大学院に進学したいと思わせるような、自らの研究態度などを示すには不十分であったと考える。
臨床	0.20	日々の臨床業務において、安心・安全な処置を心掛ける。特に安全な手術と、円滑な病棟管理を心掛け、病床稼働率を向上させる。加えて、口唇口蓋裂患者の新規紹介患者数の向上を目標とし、日々の臨床で患者満足度を充実させるとともに、患者家族の会の発起の手助けをしていく。		0.50	専門である口唇口蓋裂患者は増加傾向を示しており、専門外の手術や病棟管理をおこなうことに多くの時間を要した。臨床としてはまずまずの結果を残したと自覚するが、その反面、研究業がおろそかになった部分があることは否めず今後の最大の課題と考えている。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		片岡 恵一	所 属	歯科口腔外科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	外科的矯正治療および先天異常疾患に起因する矯正治療に関して、新人教育および学生教育にカリキュラムとして導入する。		0.20	外科的矯正治療および先天異常疾患に起因する矯正治療に関して、新人教育および学生教育。日本口蓋裂学会における研究発表において研修医の指導。	
研究	0.20	外科的矯正治療および先天異常疾患に起因する矯正治療における、機能、形態学的な臨床研究の立ち上げを行う。若手研究Bもしくは基盤研究Cでの競争的資金獲得を目指す。		0.20	若手研究Bに応募中	
社会貢献	0.10	診療科としての特色である、顎変形症、口唇口蓋裂治療に関する情報発信を行う。当初、歯科口腔外科のホームページでの情報発信から始めていき、市民公開講座などでの広義での情報提供、歯科健診などのスクリーニングによる狭義での情報提供を行う。		0.20	沖縄県内の歯科医師とのコミュニケーションをとり、難易度の高い症例などについてディスカッションを行い、地域医療の活性化を促進。口唇口蓋裂における親の会での講演。歯科健診などにおける地域住民への歯科に対する啓蒙活動。	
管理運営	0.05	医局運営の円滑化、セキュリティの強化に努める。		0.05	教員での会議を定期的に行い、役割分担について明確化した。	
進路指導	0.05	卒後研修医局員に対し、適切な歯科に関する知識、技術を提供し、今後の進路および得意分野の開発におけるアドバイスを行う。		0.05	卒後研修医局員に対し、適切な歯科に関する知識、技術を提供し、今後の進路および得意分野の開発におけるアドバイスを行う。	
診療	0.40	顎変形症、口唇口蓋裂、先天異常症例における歯科矯正治療症例、私費の矯正歯科治療、および一般歯科治療より多くの症例を受け入れ、大学病院の診療科としての付加価値を向上する。		0.30	顎変形症、口唇口蓋裂、先天異常症例における歯科矯正治療症例、私費の矯正歯科治療、および一般歯科治療より多くの症例を受け入れ、大学病院の診療科としての付加価値を向上。インプラント治療などとの包括的な自費診療の増加。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		小 田 正 美		所 属		琉球大学医学部附属病院 ME機器センター		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.20	臨床工学技士養成大学からの学生受け入れを行う。研修医、看護師、院内職員にME機器の原理、取扱についての教育を行う。臨床工学技士のME、血液浄化療法における技術と知識を教育する。				0.15	臨床工学技士養成大学からの学生受け入れを行なった。研修医、看護師、院内職員にME機器の原理、取扱についての教育を行なった。臨床工学技士のME、血液浄化療法における技術と知識を教育した。				
研究	0.15	透析医学会、九州臨床工学会などの研究会、学会などでの研究成果を発表する。沖縄産業創出事業における医工学連携分野における取り組みを行う。				0.20	第9回九州臨床工学会、第41回日本血液浄化技術学会にて研究成果を発表した。臨床工学技士、看護師用の血液浄化技術に関する雑誌、教科書の共同執筆を行なった。新しいME機器管理の方法を業者と共にハード、ソフトの開発を行なっている。				
社会貢献	0.15	日本血液浄化技術学会、日本臨床工学技士会などを通し、臨床工学技士の技術向上に貢献するとともに、臨床工学技士の社会的地位向上を行うための活動をする。				0.15	日本血液浄化技術学会、日本臨床工学技士会の代議員、九州臨床工学会編集委員会委員長として臨床工学技士の技術向上に貢献するとともに、臨床工学技士の社会的地位向上を行うための活動をした。また県内の医療スタッフにおいて医療機器安全管理の講演を行なった。				
管理運営	0.20	ME機器センター主任として医療機器安全における保守点検計画を行うとともに、ME機器の効率的運用を行うことで経済性を上げることにも貢献する。医療機器の安全を確保するためにインシデント分析を行い、医師、看護師、事務スタッフとは違う立場から管理運営にかかわっていく。				0.20	ME機器センター主任として医療機器安全における保守点検計画を行うとともに、ME機器の効率的運用を行うことで経済性を上げることにも貢献した。医療機器の安全を確保するためにインシデント分析を行い、医師、看護師、事務スタッフとは違う立場から管理運営にかかわっている。				
診療	0.30	血液浄化療法、各診療科におけるME機器操作、点検を行う				0.30	血液浄化療法、各診療科におけるME機器操作、点検を行った。抹消血幹細胞採取における血液成分分離装置の運転およびシステム作りを行なった。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	増田 昌人		所 属	医学部附属病院 がんセンター	
職 名			職 名	特命准教授	
領域	業務ウエイト比(予定)	平成26年度 年度目標設定	業務ウエイト比(実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.10	治療学(臨床腫瘍学)および血液学(貧血)講義の分担担当者として、前年の講義終了後のアンケート調査結果を基に、講義内容や講義用スライド等の講義用資料を改善する。研究業績を講義内容に反映するよう努力する。FDに参加する。	0.10	<p>昨年の学生の授業終了後の独自のアンケート調査結果を踏まえて、臨床腫瘍学は講義スライドの20%を、貧血学では10%の講義用資料(講義用スライドも含む)を入れ替えた。</p> <p>厚労省科研費研究班での研究成果、特にがんに関する情報提供とがん医療の質の評価に関して、講義に取り入れて学生に説明した。</p> <p>今年も講義終了後に、講義に関するアンケート調査を行い、次年度の講義の改善のためのデータ収集を行った。</p> <p>FDに参加した。</p> <p>保健学科より講義を委託され、臨床腫瘍学の講義を行った。</p>	
研究	0.30	学会での報告発表、学会誌への投稿等を行う。学会評議員等として、学会を通じた研究活動を行う。外部資金を獲得する。国立がん研究センターがん対策情報センターと東京大学公衆衛生学教室との共同研究を継続する。	0.35	<p>がん医療の質を評価し向上させる研究を国立がん研究センターと東大共同で行っており、その成果を10月のAmerican Society of Clinical Oncology (ASCO) 's Quality Care Symposium 2014 (Boston, USA)で発表した。また、第8回医療の質・安全学会総会でシンポジストを務めた。</p> <p>外部資金としては、①厚労省補助金1件(拠点病院強化事業費2,930万円)、②沖縄県受託金2件(1,144万円)、③沖縄県補助金1件(977万円)、④厚労省科研費1件(160万円)、⑤公益財団法人笹川記念保健協力財団研究助成1件(100万円)⑥琉大科学研究費インセンティブ経費1件(73万円)を得た。</p> <p>日本臨床腫瘍学会評議員・広報委員・学会査読・専門医試験査読/評価、日本造血細胞移植学会評議員・ドナーの安全検討研究WG・ATL研究WG・後期合併症とQOL研究WG、日本検査血液学会評議員として学会活動、研究活動に貢献した。</p>	
社会貢献	0.20	学外の沖縄県、国立がん研究センター等の審議会や委員会等の委員として参画する。学外の研修会や講演会の企画や講師として参画する。がん対策のためのタウンミーティングを通じて、沖縄県に地域貢献する。	0.15	<p>がん登録推進法の成立に貢献し、その後招集された厚労科研特別研究事業「全国がん登録のガイドライン等の準備のための研究」班分担研究者として、全国がん登録の政令案・省令案に意見を述べた。また、全国がん登録のガイドライン・マニュアルの作成に貢献した。</p> <p>沖縄県がん診療対策協議会(県知事の諮問委員会)委員、沖縄県がん診療連携協議会委員兼事務局、同幹事会議長を務めた。</p> <p>国立がん研究センターがん登録研修専門家パネル委員として、全国で行われている厚労省委託国がん主催の研修会のカリキュラム作成に携わった。</p> <p>沖縄県福祉保健部の依頼により、がん検診の広報TV番組の企画・出演を行い、がん検診の普及活動で貢献した。</p>	
管理運営	0.20	がんセンター長として、がんセンターの運営を行う。都道府県がん診療連携病院の新たな指定要件を満たすために、積極的に病院の各部署に働きかけを行う。沖縄県統括相談支援センター長・沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センター長として、それぞれの運営を行う。附属病院の各種委員会に参加する。	0.20	<p>がんセンター長として、がん診療連携病院の指定要件を満たすために、積極的に病院の各部署に働きかけを行い、意欲的に事業等を行った。結果として、厚労省から高く評価され、がん診療連携拠点病院機能強化事業費について全国397拠点病院中第2位の予算を得た。</p> <p>沖縄県在宅医療人材育成・がん医療の質の評価センター長、沖縄県統括相談支援センター長として、沖縄県からの委託事業を成功させた。</p> <p>附属病院の種々の委員会に参加した。</p>	
進路指導	0.10	3年次9名の指導教官として、学校生活上の問題も含めて、進路指導に当たる。	0.10	<p>学生への個人面談を、それぞれ2回行った。</p> <p>学部学生の生活指導・進路指導を行った。また、保護者への相談も行った。特に重篤な疾患に罹患し、休学を余儀なくされた学生とその保護者に対して、真摯に相談に当たった。</p>	
診療	0.10	外来診療を週1回行う。がん診療に関するセカンドオピニオンに対応する。がん診療に関する地域連携クリティカルパスの作成と改定を行う。	0.10	<p>内科外来診療を週1回行い、他科からの紹介に積極的に対応した。</p> <p>がん診療に関するセカンドオピニオンを行った。</p> <p>がん診療に関する地域連携クリティカルパス(胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、肺がん等)を、取りまとめ役として県内の主要病院の現場の責任者と作成・改定を行い、学内に周知した。さらに、前立腺がんのパスの新規作成の際に、その取りまとめを行った。</p>	
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		岸本 幸明	所 属		リハビリテーション部
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.10	医学部におけるリハビリテーション学分野の講義(総論・各論)担当。 医学生の臨床実習指導。		0.10	昨年度同様効果的な講義、指導ができた。
研究	0.10	小型三次元加速度計を用いた障害者の歩行分析について研究する		0.10	予定とは別の代替器による歩行分析を検討中。
社会 貢献	0.20	沖縄県更生相談所の判定業務の嘱託医業務の担当。離島などの僻地における巡回相談の担当。(それぞれ肢体不自由分野)		0.20	滞りなく対応できた。
管理 運営	0.20	リハビリテーション部における療法士との業務調整。患者、理学療法・作業療法・言語療法単位数の把握。病院内緩和ケアチームの担当。		0.20	リハビリチームのリーダーとして対応できた。
進路 指導	0.10	リハビリテーション研修希望者へ他大学・病院含めた情報提供(ポスター貼付など)		0.10	研修医教育のための情報提供・指導を行うことができた。
診療	0.30	各科リハビリテーション依頼患者における診療(評価・指導)担当。		0.30	適切な評価、指導、リハビリ処方を行った。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		新里 朋子		所 属		リハビリテーション部		職 名		特命助教	
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.15	心肺運動負荷試験の方法, 評価判定を習得できるよう指導する. 学生に心不全講義(心臓リハビリテーション)の講義を行う。				0.10	心肺運動負荷試験の方法, 評価判定を習得できるよう指導した。学生に心不全講義(心臓リハビリテーション)の講義を行った。				
研究	0.15	・心臓リハビリテーション研究会 CROP研究に参加する。				0.15	第8回九州心臓リハビリテーション研究会を平成26年9月20日, 21日に沖縄コンベンションセンターにて開催した。事務局を担当し, 一般演題 口述「心リハ参画・運営」セッションの座長を務めた。また, 琉球大学医学部附属病院の心臓リハビリテーションのチームリーダーとして, ポスター1演題, 口述3演題の発表を指導した。				
社会貢献	0.15	・心臓リハビリテーションにより, 循環器疾患患者のADL/QOLの改善・維持向上および再発予防に取り組む。 ・動脈硬化疾患に関する市民公開講座(啓蒙活動)に助力する。				0.20	平成26年9月21日沖縄コンベンションセンターにて, 心臓リハビリテーションを提供する県内複数の医療施設・関係者の協力を得て, ABI測定, 骨密度測定, 栄養相談・集団体操などの各種イベントならびに市民公開講座(足は第2の心臓, 岩淵講師)を開催した。				
管理運営	0.20	・心臓リハビリテーション部門の多職種連携を推進する。				0.20	カンファレンスや患者・家族向けの心リハ教室を開催し, 医師, 看護師, 理学療法士, 栄養士, 薬剤師との連携を推進した。				
進路指導	0.05	・後輩医師(特に女性)のキャリア習得・進路についてアドバイスする。				0.05	後輩医師のキャリア習得・進路についてアドバイスした。				
診療	0.30	・循環器患者に心臓リハビリテーションを行い, 患者のQOL/ADLの改善に取り組む。				0.30	循環器患者に心臓リハビリテーションを行い, 患者のQOL/ADLの改善に取り組んだ。				
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		廣瀬 康行	所 属	附属病院・医療情報部	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.02	<ul style="list-style-type: none"> ・学部学生の指導教員としての役割を果たす ・院内講習会を開催して啓蒙に努める(数回を予定) 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学部学生は最終学年なので、個々人の心身の健康状態ならびに多忙度を勘案しながら、指導教員として責務を果たした。 ・院内講習会の代わりに脆弱性検査を実施し、その報告書によって本院ならびに医学部の各部署に情報セキュリティの現況を認識させ、啓蒙に努めた。 	
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・学会の報告発表にエントリーする ・学会での委員会活動を実施する 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・17th International Congress of Oriental Medicine (ICOM) での招待講演を引き上げ、さらに一般演題でも発表した。 ・日本医療情報学会では幹事を務め、また国際委員会に関わりISO/TC215主査を務めた。さらに日本東洋医学会ならびに全日本鍼灸学会にてJLOM関連委員会を務め、またJLOMではISO/TC249委員会委員を務めた。 	
社会貢献	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO(国際標準機構)TC215 に参画し本邦の国益および世界に貢献する ・ISO(国際標準機構)TC249 に参画し本邦の国益および世界に貢献する ・学外の教育機関で情報リテラシーの基礎を教授する 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO(国際標準機構)TC215 に参画し(軽井沢会議、ベルリン会議、日常的な対外接触、国際投票)本邦の国益および世界に貢献した。 ・ISO(国際標準機構)TC249 に参画し(京都会議、日常的な対外接触、国際投票)本邦の国益および世界に貢献した。 ・沖縄歯科衛生士学校で情報リテラシーの基礎を教授した。 	
管理運営	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・病院ポータルサイトの管理運営 ・院内RAINSの管理運営(総合情報処理センターと協同) ・もしITの戦略的活用に関わる任が委嘱にされれば、これを実施する ・もし病院経営分析の一部自動化を依頼されれば、これを実施する ・もし総務処理の一部自動化を依頼されれば、これを実施する 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・病院ポータルサイトの管理運営について、医療情報部運営協議会を開催し、セキュリティや維持の側面も踏まえながら、病院長に提言した。 ・院内RAINSの管理運営について、院内各部署ならびに総合情報処理センターと協同しながら、特にセキュリティほか脆弱性の解消に関して実施した。 ・ITの戦略的活用に関わる任が委嘱されなかったが、その様な依頼があった場合に備えて、各種の下準備を一部実施した。 ・病院経営分析の一部自動化は依頼されなかったが、そのロジックの教授を山本俊成講師が依頼されたので、これの一部を支援した。 ・総務処理の一部自動化を依頼されなかったが、その様な依頼があった場合に備えて、各種下準備とくに設計について、関係部署への事情聴取等を実施した。 	
進路指導	0.02	<ul style="list-style-type: none"> ・指導を担当する班員に必要が生じた場合には指導支援する 		0.00	<ul style="list-style-type: none"> ・指導を担当する班員は医学部生なので、特段の必要は生じなかった。 	
診療	0.06	<ul style="list-style-type: none"> ・DMAT 研修の参加を試み、もし割り当てられれば参加する 		0.00	<ul style="list-style-type: none"> ・DMAT 研修は、沖縄県から配分されなかったので実施できなかった。 	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		山本 俊成	所 属		医療情報部
			職 名		講師
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.05	・医療情報部が主催する院内講習会をサポートする(2~4回)		0.05	・院内講習会の代わりに脆弱性検査報告書によって各部署の担当者に情報セキュリティの知識を与える業務をサポートした。
研究	0.30	・学会での査読付き学術発表にエントリーする ・今後の研究を進めるためのリソースを蓄積する(今年度の学会では発表しないもの) ・概念および概念間の関係の可視化に関する研究		0.30	・17th International Congress of Oriental Medicine (ICOM) に Toward Harmonization and Integration of the Knowledge of Traditional Medicines and Modern Sciences— Designation, Concept, Coding, and Mapping — の共同演者として発表した。 ・漢方製剤およびその適用症に関する研究のためのリソースを蓄積した。 ・可視化の研究について利用するソフトウェアを検討し、購入した。
社会貢献	0.15	・ISO(国際標準機構)の International Expert の活動をサポートし、世界及び本邦の国益に貢献する		0.15	・日本の医療用漢方製剤の適用症と疾病コードに関するデータ整備を行い、International Expert の活動をサポートした。
管理運営	0.50	・総合情報処理センターと連携しながら院内RAINSを維持運営する ・病院ポータルサイトの管理運営 ・他部門のネットワーク環境の構築についてアドバイスする ・感染対策実務者会議に参加する ・病院経営改善に係わるデータ分析を支援する(但し、経営企画課と協議のうえ、依頼されたならば)		0.50	・台風による停電後のサーバとネットワークの復旧を行った。 ・接続不能や不安定等の問合せに対応した。 ・サーバ群の Heartbleed 脆弱性を対処した。 ・サーバ群の DNSキャッシュポイズニング脆弱性を対処した。 ・サーバ群の Bash Shellshock 脆弱性を対処した。 ・サーバ群の OpenSSL 脆弱性を対処した。 ・病院ホームページのリニューアルに技術的なサポートをした。 ・計画停電によるサーバの停止と再開の作業を行った。 ・定期的に感染対策実務者会議に参加した。 ・病院経営改善に係わるデータ分析を支援した。
進路指導	0.00	・なし		0.00	
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		新垣 久美子	所 属		医療福祉支援センター	職 名		特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.05	医学生、研修医等に対して医療連携や診療録について講義、指導を行う			0.05	医学生(M4医療学総論)、研修医(オリエンテーション)に対して医療連携や診療録について講義、カルテ記載や診断書作成の指導を行った		
研究	0.05	科研費への応募			0.05	日本医療連携研究会、国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会の調査研究に協力した。科学研究費獲得については実現できなかった		
社会貢献	0.05	市民公開講座や地域連携の勉強会などの開催			0.10	琉大病院地域連携勉強会(Ciento Network Meeting)を開催(平成26年10月)し20数名の地域の先生等が参加し好評であった。		
管理運営	0.30	医療福祉支援センターの運営管理、職員の管理			0.50	医療福祉支援センター職員の教育、管理を行った。センターに係る事業、会議、研修会などに参加した。		
進路指導	0.05	医学生、研修医等に対する指導			0.05	医学生、研修医等に対して講義を通して認定医や専門医の取得に必要な助言を行った。		
診療	0.50	医療連携に関する患者・家族等の相談および診療のほか、循環器専門領域での外来診療や検査等			0.25	医療連携に関する患者・家族等の相談について重要な相談や安全管理上問題となるような相談について助言を行った。他医療機関を訪問し地域連携・退院調整について情報収集等を行った。診療については循環器専門領域での外来診療や検査等を担当した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		仲松 正司	所 属	感染対策室	職 名	特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	感染対策の教育をはかり病院の感染症対策の意識向上につなげる		0.10	今年度は教育については目標より十分に行うことは出来なかった	
研究	0.00			0.30	抗菌薬適正使用活動を継続して行うことが出来た	
社会貢献	0.00			0.00		
管理運営	0.00			0.30	エボラウイルス疾患、インフルエンザ対策など、病院全体での活動を行った	
進路指導	0.00			0.00		
診療	0.70	感染症診療のレベルアップを図る		0.30	血液培養陽性症例、コンサルト症例をうけもった	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		玉城 佑一郎	所 属		医学部・医学研究科
			職 名		特命講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.42	学内救急医療講義で救急医療について講義教育する。臨床実習で救急現場において経験させ救急診療やプレゼンテーション力を養う。初期臨床研修医への救急診療教育、多職種への医療安全教育を行う。ERへ出向する各科医師への救急医療教育と専門知識の相互交流の場を作る。		0.42	これまでなかった研修医や医学部学生、各科出向医へのレクチャーを開始し、継続出来ている。それにより各科の最先端の考え方を学習する事が出来、教育面で目標としていた事を開始する事が出来た。医学部高学年学生や研修医の救急車同乗実習は人気があり、これからも継続していきたいと考える。東京大学救急部とのwebカンファレンスを行う事が出来、研修医や学生にも良い刺激となっている。
研究	0.02	重症患者の集中治療や呼吸療法に関する臨床的研究を進める。救急受診時にトリアージを行う事で医療行為効率の変化について研究を進める。災害医療については日本における災害の研究および米国災害医療システムと比較しながら研究を進める。		0.00	研究症例を挙げたのみで項目内容を実施する事が全く出来ておらず、今回の評価内容で反省する点。
社会貢献	0.02	アメリカ心臓協会(AHA)による心肺蘇生講習のトレーニングサイト(TS)に関わり、多くの県内医療従事者や一般市民への研修を手助けしていく。各スポーツイベントの医療に携わりながら救急医療を生かしていく。人手の足りない他の救急診療を手助けしていく。		0.01	トレーニングサイトへも積極的に参加しインストラクター資格を取り、医学部学生や医療従事者へ指導する事が出来た。各スポーツイベントへの医療指導やアドバイスも行う事が出来た。今回はNAHAマラソンへの介入も行う事が出来た。
管理運営	0.08	診療報酬も変わった為、昨年と比較し救急外来での感染対策や診療方法などの見直し、今年から新しく建設される救急室での取り組みなど、問題点を挙げながら運営に関わっていく。		0.10	特に診療報酬に付いては医局会で保険病名や検査項目などの指導を行い、徐々に改善を行っていき、診療報酬の点で過去と比較すると確実に良くなって来ている。
進路指導	0.14	医学部医学科学生の部活や医療ボランティア活動に携わり指導に努める。臨床実習時に地域枠の学生、救急部にローテーションする初期臨床研修医と診療を一緒に行いながら救急診療の重要性を教え指導し、将来この分野を専門とする医師または救急医療に関われる医師の育成に努める。		0.07	各種スポーツにおけるボランティア活動の指導や助言を行い、研修医への指導を昨年以上に行う事が出来たが、昨年より同等に力を入れる事は出来なかった。マンパワーの問題で指導医を少しずつでも育ていくしかなく、毎年地道に進んで行くしか無いと思われた。
診療	0.32	救急車患者受診数や入院患者数を増やし黒字転化に貢献していく		0.40	ここ2年で診療受診者数は千名近く増加し、救急車台数も増加させる事が出来た。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		井関 邦敏		所 属		血液浄化療法部		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.15	医学部学生に対して腎・泌尿器系の系統講義、研修医相手のセミナー開催				0.15	年5コマの学生講義およびベッドサイドでの講義を3週ごとに実施した。				
研究	0.20	慢性腎臓病および慢性透析患者の臨床疫学的研究				0.20	特定健診受診者の解析をすすめている。				
社会貢献	0.15	沖縄県教育委員会健康診査委員、国際学術誌の編集委員				0.05	年に2回の委員会出席。雑誌査読を月に数編行つた。				
管理運営	0.20	透析室(20床)における診療および内科外来患者の診療				0.30	週当たり120回前後の血液透析および10名のCAPD患者を管理している。				
進路指導	0.15	学会において専門医認定、指導医認定を行う				0.15	日本腎臓学会、日本透析医学会において沖縄県内在住の専門医をそれぞれ数名認定した。				
診療指導	0.15	内科外来において専門診療				0.15	腎臓専門医として週当たり20-30名の診療に従事した。CAPD療法を開始した。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		外間 昭	所 属	光学医療診療部	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.10	系統講義、学生の臨床教育、研修医への診療指導、内視鏡の実技指導を行う。		0.10	系統講義、ポリクリ学生への内視鏡及びX線読影指導、研修医への診療指導、内視鏡担当医への技術指導を行った。	
研究	0.30	英文原著1報、英文症例報告・短報5報の採択及び科研費の獲得を目指す。大学院生の学位論文の達成を目指す。		0.30	英文症例報告・短報 10報の採択を達成した。大学院生のサイトメガロウイルス研究を指導した。	
社会貢献	0.10	光学医療診療部から市民への啓蒙を文書等で行う。海外学術雑誌2誌の編集委員として、編集・査読を行う。		0.10	肝疾患市民公開講座の開催を補佐した。欧米学会雑誌から依頼された論文15編の査読を行った。	
管理運営	0.10	光学医療診療部の適切な管理・運営を行う。		0.10	光学医療診療部の適切な管理・運営を行った。鳥取大学病院内視鏡室へ相互評価の査察を行った。	
進路指導	0.10	大学院生3人の研究指導を行う。医学生の担当教員を務める。		0.10	大学院生3人の研究指導を行った。医学生の担当教員を務めた。	
診療	0.30	外来診療、内視鏡検査、入院患者回診を行う。		0.30	外来診療、内視鏡検査と入院患者回診・往診を継続した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	金城 渚		所 属	光学医療診療部	
職 名	助教				
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	医学部学生への臨床講義を半年に1~2コマ担当する。ポリクリ実習生、研修医、後期研修医、また消化器病・内視鏡専門医をめざす医師に対し消化器内視鏡全般の指導を行う。消化器病学会、内視鏡学会、消化器がん検診学会を中心に年に数回発表もしくは発表時の指導を行う。		0.20	医学部学生への臨床講義を半年に1コマ以上担当した。ポリクリ実習生、研修医、後期研修医、また消化器病・内視鏡専門医をめざす医師に対し消化器内視鏡全般の指導を行った。消化器病学会、内視鏡学会、消化器がん検診学会を中心に年に8回以上発表時の指導を行い、自らも2回発表を行った。
研究	0.20	ラオス国セタティラート病院における内視鏡技術移転について現地ラオス人医師とメールにて内視鏡所見データのやり取り、データの解析を進めている。2014年9月にはラオス人医師2名の更なる内視鏡技術支援目的に短期滞在での研修を当科において予定している。		0.20	ラオス国セタティラート病院における内視鏡技術移転について現地ラオス人医師とメールにて内視鏡所見データのやり取り、データの収集を行った。2014年10月26日から11月23日の間、ラオス人医師(Dr Oukeo KOUNTHALYVONG)の内視鏡技術支援目的に研修を当科および近隣施設にておいて行った。
社会貢献	0.10	2014年5月に沖縄で開催される第5回「IBD若鷹の会」記念大会in 沖縄 with IBD Seminar、および2014年8月に開催される日本大腸検査学会九州地方会の事務局として運営準備中である。		0.10	2014年5月に沖縄で開催された第5回「IBD若鷹の会」記念大会in 沖縄 with IBD Seminar、および2014年8月に開催された日本大腸検査学会九州地方会の事務局として運営を行った。
管理運営	0.20	日々の内視鏡業務運営がトラブルがなくスムーズに行えるよう心がけている。具体的には、安全管理対策報告、不定期ではあるが関連診療科(光学、第1内科、第1外科、第2外科)間の協議:光学医療診療部小委員会を1~2カ月に1回開催している。		0.20	2014年4月には内視鏡取扱い講習会の開催、安全管理対策報告の実施、不定期ではあったが関連診療科(光学医療診療部、第1内科、第1外科)間の協議:光学医療診療部小委員会を1~2カ月に1回開催してきた。
進路指導	0.05	これまでに進路指導の経験は無い。消化器疾患の中で主とする専門分野として、細分化された上部消化管疾患、下部消化管疾患、肝胆膵疾患について大まかな説明は可能であり、これまでも相談を受けてきた。		0.05	研修医、後期研究医より質問があり、消化器疾患の中で主とする専門分野として、細分化された上部消化管疾患、下部消化管疾患、肝胆膵疾患について大まかな説明を行い、進路指導については、達成度90%以上と考える。
診療	0.25	外来業務を週に2コマ周年行っている。消化器内視鏡業務については特に小腸カプセル内視鏡検査(VCE)、経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)を直接自ら行っている。VCEを年間50症例以上、PEGを15症例以上施行を目標とする。		0.25	外来業務を週に2コマ周年行ってきた。消化器内視鏡業務については小腸カプセル内視鏡検査(VCE)、経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)を直接自ら行ってきた。VCEを年間50症例以上、PEGを15症例以上施行してきた。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)									
名 前		合志 清隆		所 属	高気圧治療部		職 名	准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.10	高気圧医学の教育(学生:講義教育と臨床教育、医師:臨床教育)			0.10	実施できた			
研究	0.10	フィールド調査(沖縄県の職業性ダイバーにおける減圧障害の実態と勤務状態を調べる)			0.10	調査研究は実施できた。科研費の申請、医療機関と関連企業からの外部資金の取り組みを行っている。			
社会貢献	0.10	潜水ないし潜函作業への協力(沖縄県の潜水作業と潜函作業において、大臣審査に必要とされる有識者による作業者の指導、事故時の救急対処、その後の安全教育の実施)			0.10	実施できた			
管理運営	0.10	事故防止で職員教育(専門学会の安全対策で決められている高気圧酸素の関する事故防止を毎日実施。院内マニュアルの職員周知)			0.10	実施できた			
進路指導	0.10	適正な指導(学生の履修状況の確認、学生が不安に感ずる事項への対処)			0.10	実施できた			
診療	0.50	診療実績の向上(年3,000~4,500件の治療実績から、年6,500~6,900件と国内トップの実績を誇るまでになった。診療収入は3~5倍に上昇した。重症患者の受け入れを近隣の救急病院から行っており、専門診療での病院連携を構築している。新治療の推進)			0.50	実施不可の見込みで、年5,500件の見込み。しかし、診療収入の落ち込みは最小限にとどまった。近隣医療機関への啓蒙が必要である。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		仲地 佐和子		所 属		医学部付属病院骨髓移植センター		職 名		特命助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	(1)ポリクリ学生、研修医への教育、レクチャー (2)M4学生への系統講義(白血病と類縁疾患、凝固系と線用系、血友病 年3コマ)				0.30	(1)M4系統講義は十分行えた。(2)ポリクリ実習生へ毎日朝夕の回診を行い、適宜レクチャーを行った。2014年4月～2015年1月までにのべ50人の医学生が血液内科を選択肢し、ポリクリ実習を行えた。(3)血液学会の教育認定施設であり、指導医取得のため論文執筆中である。				
研究	0.20	(1)ATL症例リサーチ:症例報告発表 (2)日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)の多施設共同研究の施設参加 (3)論文作成				0.10	(1)外来、入院患者におけるATL患者へ研究内容の説明を行い、同意書を取得し検体を回収した。過去の移植成績データを解析し、発表できた。(2)JCOGの審査に通り、認定施設となった。また、十数回の県内外の研究會・講演会に参加・実施できた。				
社会 貢献	0.10	(1)製薬会社の勉強会、座談会(年2-4回)(2)県内血液内科関連施設との協力関係の構築(BCR-ABL変異解析、CD34測定)				0.10	(1)製薬会社主催の講演会などの講演、座長などを勤めた。(2)県内の慢性骨髄性白血病に対してBCR-ABL変異解析(保険外、臨床研究)のサポートを行え、社会貢献ができた。				
管理 運営	0.05	(1)9西病棟の無菌室の運用にかかる安全管理 (2)化学療法を行う際の抗がん剤の取り扱いに関する安全管理				0.10	(1)末梢血幹細胞採取・凍結保存のマニュアルを改訂した。(2)9階西病棟の無菌室の稼働は重大な問題もなく、稼働している。(3)抗がん剤の取り扱いに関して必ず安全キャビネットを使用する旨、繰り返し指導した。				
進路 指導	0.05	血液内科を希望する研修医、学生に対するの研修先などの進路指導				0.05	血液内科を希望している研修医に対して面談を数回行い、研修内容や適切な研修先、専門医制度に関して詳しく説明した。初期研修終了後、当科にて後期研修予定である。毎年、血液内科修練医の入局を認める。				
診療	0.30	(1)血液内科に関する診療:外来診療、入院診療、セカンドオピニオン (2)骨髄バンクドナーの骨髄採取(年間10-12回)				0.35	(1)血液内科の外来診療は大きな問題もなく経過した。のべ約60人強の血液疾患患者の入院診療を行った。うち、病理解剖を3件実施した。(2)骨髄バンクドナーの骨髄採取は小児血液医と協力し、これまでの月1回から月2回のペースで円滑に行えるようになった。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		久田 友治	所 属	附属病院手術部	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.25	手術部実習(M5・通年):手術時手洗い、標準予防策(静脈針留置、針刺し対策を含む)、シミュレーターを用いた縫合などの実習を行う。おきなわシミュレーションセンターも利用する。呼吸器・胸壁・縦隔(M3)の講義。手術部看護師および臨床工学技士の実務と臨床研究について教育する。委託された外部の臨床工学科の学生実習を行なう。		0.25	・M5:手術部実習をシミュレーションセンターを利用して通年で実施した。又、総合講義を担当した。・M4:医療学総論「手術室の感染対策」を担当した。・M3:呼吸器・胸壁・縦隔の講義を担当した。・手術部看護師および臨床工学技士の実務と臨床研究について教育した。看護師が筆頭著者である論文を投稿中である。委託された外部の臨床工学科の学生実習を行なった。	
研究	0.30	基礎看護学教室とのラオスにおける共同研究を継続する。学会報告:「手術関連インシデントの9年間における推移」(日本外科学会),「シホゾウム;医療機器の耐久性・耐用期間」「後発の医療材料である針糸の経済性と安全性の評価」(日本医療機器学会),「故障と修理の観点から手術台の耐用期間を考える」「手術稼働率に及ぼす諸因子に影響について」(日本手術医学会)論文の投稿:「業者貸出し手術器械および用手洗浄した眼科手術器械のアデノシン三リン酸測定による洗浄評価」,「転倒転落における危険因子」,「医学生に対するシミュレータを用いた感染対策の実習の評価」。		0.30	学部横断的に25年12月に組織した琉球大学ラオス研究会を継続している。学会:「手術関連インシデントの9年間における推移」(外科学会),「シホゾウム;医療機器の耐久性・耐用期間」「後発の医療材料である針糸の経済性と安全性の評価」(医療機器学会),「故障と修理の観点から手術台の耐用期間を考える」「手術稼働率に及ぼす諸因子に影響について」(手術医学会)。出版論文:「全国国立大学病院手術部会議の調査に基づく無影灯の故障に関する検討」,「医学生に対するシミュレータを用いた感染対策教育の評価」,「入院患者における転倒・転落の発生場所と傷害程度の関連」,「後発医療材料の経済性と安全性の評価 - 縫合針付き吸収性合成糸の使用実績を通して」。	
社会貢献	0.10	県医師会の医療安全対策委員。社会保険診療報酬請求審査委員会委員。上記研究によるラオスにおける感染対策の援助。県の医療安全推進協議会委員として、県内における医療安全の情報共有を進める。		0.10	社会保険診療報酬請求審査委員会委員。上記研究によるラオスにおける感染対策の援助。地域医療振興協会のゆいまーるプロジェクトにおける竹富島診療所での診療応援を2日間行なった。県の医療安全推進協議会委員、県医師会の医療安全対策委員は任期を終了した。	
管理運営	0.35	手術部管理:安全で円滑な手術部運営に努め、特に効率化を進めて経営改善を図る。安全管理対策室における分析担当者としての役割を果たす。保険診療委員会とDPC委員会の委員として病院経営に資する。病院全体のクリニカルパスの推進に関わる。		0.35	手術部管理:安全で円滑な手術部運営に努め、特に効率化を進めて経営改善を図った。安全管理対策室における分析担当者としての役割を果たした。保険診療委員会とDPC委員会の委員として病院経営に関わった。病院全体のクリニカルパスの推進に関わった。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		大城 匡勝	所 属		手術部
職 名				助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.15	学生および初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理について根拠を示しながら、シミュレータを活用し指導する。		0.15	学生および初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理について根拠を示しながら、シミュレータを活用し指導した。
研究	0.15	動物実験また臨床で得られた新たな知見をもとに学術集会、学術誌等で発表を行い、論文作成をする。		0.15	動物実験また臨床で得られた新たな知見をもとに学術集会、学術誌等で発表を行い、論文作成を行った。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。
管理運営	0.25	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行う。		0.25	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行った。
進路指導	0.10	後期研修医・大学院生に対して必要な各種専門医および学位の取得が円滑に行えるようカリキュラム編成および指導を行なう。		0.10	後期研修医・大学院生に対して必要な各種専門医および学位の取得が円滑に行えるようカリキュラム編成および指導を行った。
診療	0.25	附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。		0.25	附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供した。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		西 啓亨	所 属	手術部	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	医学部学生、初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理についてエビデンスを示しながら指導する。手技に関するシミュレーション教育・周術期管理に関する教育を積極的に行う。		0.20	医学部学生、初期臨床研修医、後期研修医に対し、手技に関するシミュレーション教育を目標通り行った。	
研究	0.20	シグナル伝達に関する基礎研究、筋弛緩薬・凝固障害など麻酔関連の臨床研究を計画・実施する。また、学術集会、学術誌等で発表を行う。		0.20	今年度、学位を取得予定。倫理委員会を通った臨床研究を施行中。症例報告を国際学会にて発表した。	
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	ほぼ目標通り達成した。	
管理運営	0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全・迅速に手術室運営を行う。		0.10	ほぼ目標通り達成した。	
進路指導	0.10	卒後臨床研修センター委員として、初期研修医の研修教育、初期研修後の進路相談を行う。		0.10	ほぼ目標通り達成した。	
診療	0.20	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、安全に周術期管理を行う。		0.30	ほぼ目標通り達成した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		野口 信弘	所 属	麻酔科(手術部)	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。ポリクリ実習学生に対し、当科の役割や面白さを伝え実習指導を行なう。消防学校での講義を通し救急救命士の育成に貢献する。		0.20	学生の講義は、スライド作成に工夫を行い興味を持てる様に行った。ポリクリ実習、臨床研修に際しては、実際に参加させ実習、研修に興味を持たせるように行った。また消防学校での講義を行った。	
研究	0.20	臨床研究および基礎研究を通して、医学・医療の発展に貢献できる結果を学会および論文として公表する。若手研究(B)の採択に伴い、これらの課題研究を推し進める。		0.20	基礎研究および臨床研究の成果を学会で発表し、学術誌への投稿も行った。	
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	地域の関連施設での麻酔指導及び教育を行った。	
管理運営	0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行う。		0.20	週間手術予定の作成を行い手術室看護師や外科系医師との調整を行い効率的な手術室運営を行うことができた。	
進路指導	0.10	学生および研修医に対し、今後の進路に関する情報を与え指導を行う。		0.10	研修医指導医養成セミナーでの知識を生かし学生、研修医への指導を行った。	
診療	0.20	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。		0.20	手術室の効率的運営により、昨年より手術数の増加を図ることができた。また、安全に手術麻酔を施行し、大きな問題なく施行できた。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		正本 仁	所 属		附属病院 周産母子センター
			職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	近年の周産期・生殖医学の学術的・技術的発展、医療的倫理を反映した講義を行う(例:母体血清による出生前診断、胎児治療などの新しい考えの紹介)。		0.20	左記の項目に関する講義の中で、臨床例、学術的発展とその問題点について提示した。それらに関する医療倫理的問題についても提示、討論した。他科と連携した診断・治療例を提示した。
研究	0.20	英文学術論文を1編以上作成し、学術雑誌への採用を目指す。当科で経験した前置癒着胎盤例への骨盤動脈balloon留置術や精神疾患合併妊娠の管理、前置癒着胎盤の画像診断に関する研究、臨床的検討について学会、ワークショップなどで対外的に発信する。若手研究者の育成に努める。比較的立ち遅れている周産期関係の臨床研究を発展させる。		0.20	前置癒着胎盤例への骨盤動脈balloon留置術や癒着胎盤の新しい診断法、習慣流産治療の新しい試みに関して全国学会で発表し支持的意見を得た。筆頭著者としての英文論文作成は出来なかった。周産期関係の臨床研究は計画の段階でまだ実展開はしていない。
社会貢献	0.20	研究、診療、学会活動を通じて得た医学的知識、経験を公開講座などを通して広く提供し、県民の健康向上に貢献する。		0.20	沖縄産婦人科学会雑誌のreviewerとして他施設医師の論文査読を通し医学知識の啓発をはかった。宮古島市における市民公開講座で講演した。県内産婦人科医師対象の研修会で講演し、当院における不育症治療成績、新しい治療法、帝王切開後血栓予防策等を紹介した。参加している環境省エコチル調査を通じて得た妊娠中の喫煙、飲酒にかんするdataを関連施設医師に講演した。
管理運営	0.10	医師キャリア支援センターの副センター長に就任しており、充実した研修プログラムの作成、運営にあたる。地域周産期センターである当周産母子センターの部長として、臨床研究および診療の充足に努める。		0.10	医師キャリア支援センター副センター長として、県内の指導医講習会を主催した。周産母子センターセンター長として診療体制の充足に努めた。周産母子センターの年間実績についてまとめ、周産期新生児学会へ報告した。
進路指導	0.10	医学部教官として、診療、学会参加や他施設との交流を通して知りえた初期臨床研修や後期専門研修に関する情報を学生によく提供し、進路選択の助言を行う。		0.10	左記の事項に関して、初期および後期臨床研修医に対してはよく行えた。学生に対しては、講義をとおして後期専門研修に関する情報を学生によく提供できたが、進路選択の助言までは至らなかった。
診療	0.20	周産母子センターにおける合併症妊娠例に関し、他科と連携した産科治療を充足させる。		0.20	当周産母子センターの総分娩数、出生児数、母体搬送受入数が創立以来最多となった。合併症妊娠の症例数は昨年と同等。特に精神疾患合併妊娠例、妊娠糖尿病例が昨年同様に多く、精神科や内科と連携した治療を多く経験した。
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		銘苅 桂子	所 属		附属病院周産母子センター
			職 名		講師
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.23	1. 講義内容の充実(臨床に即し、わかりやすい内容) 2. 生殖医療専門医の育成 3. 腹腔鏡技術認定医の育成 4. 研修医、後輩医師の教育、学会発表の指導 5. 胚培養士の育成		0.18	1. 講義内容の充実(臨床に即し、わかりやすい内容) 2. 生殖医療専門医の育成 3. 腹腔鏡技術認定医の育成 4. 研修医、後輩医師の教育、学会発表の指導 5. 胚培養士の育成
研究	0.20	1. 科学研究費補助金による研究の実施 2. 学会誌への投稿、発表 3. 学会での発表 4. 学会内の委員活動 5. 市販後臨床試験の実施		0.20	1. 科学研究費補助金による研究の実施 2. 学会誌への投稿、発表 3. 学会での発表 4. 学会内の委員活動 5. 市販後臨床試験の実施
社会貢献	0.05	1. 県医師会女性医師部会役員としての活動 2. 学外での産婦人科疾患の啓蒙(啓発)活動 3. 生殖医学会九州支部への評議員としての参画		0.10	1. 沖縄県子ども・子育て会議委員 2. 沖縄県労災補償認定委員 3. 県医師会女性医師部会役員としての活動 4. 学外での産婦人科疾患の啓蒙(啓発)活動 5. 生殖医学会九州支部への評議員・日本産婦人科内視鏡学会評議員としての参画
管理運営	0.10	1. 副医局長としての活動 2. 学部内委員会出席 3. 体外受精・胚移植施行施設管理		0.10	1. 副医局長としての活動 2. 学部内委員会出席 3. 体外受精・胚移植施行施設管理 4. 日本産科婦人科内視鏡学会研修認定施設管理 5. 日本生殖医学会認定研修施設管理
進路指導	0.02	1. 県医師会女性医師部会役員として県内女性医師や学部内女性医学生からの進路相談 2. 県医師会女性医師部会と合同で医学生に向けてキャリアプラン講義を行う		0.02	1. 県医師会女性医師部会役員として県内女性医師や学部内女性医学生からの進路相談 2. 県医師会女性医師部会と合同で医学生に向けてキャリアプラン講義
診療	0.40	1. 安全に十分配慮した医療 2. 患者さんへの説明と同意を十分に得て行う医療 3. 生殖・内分泌治療成績の向上 4. 腹腔鏡下手術件数の増加 5. 腹腔鏡手術適応症例の拡大(悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術を安全に行う)		0.40	1. 安全に十分配慮した医療 2. 患者さんへの説明と同意を十分に得て行う医療 3. 生殖・内分泌治療成績の向上 4. 腹腔鏡下手術件数の増加 5. 腹腔鏡手術適応症例の拡大(悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術を安全に行う)
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		吉田朝秀	所 属		医学部附属病院周産母子センター	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	学部担当科目(未熟児新生児)を担当し、系統講義、クリニカルクラークシップ医学生に対してベッドサイドティーチング等を行う。初期研修、後期研修医のへの研修指導、シミュレーション教育を行なう。			0.20	系統講義、クリクラ学生に対してベッドサイドティーチング等を行った。初期研修、後期研修医のへの研修指導を行った。研修医対象のシミュレーション教育の講師を務めた。		
研究	0.20	新生児医療に関する学会活動、研究論文の投稿を行う。スタッフの学会参加や研究発表を支援する。			0.20	周産期新生児学会、九州小児科学会、沖縄小児科学会、沖縄新生児研究会等へ参加し、研修医の学会発表を支援した。		
社会貢献	0.10	南部地区周産期ネットワーク活動を通して地域の周産期医療の充実に貢献する。継続して新生児蘇生法のインストラクターとして普及活動に従事する。小児保健協会等の公益に関わる団体の理事として活動する。			0.10	沖縄県周産期ネットワーク協議会委員として『周産期情報共有システム』を設計し稼働させた。新生児蘇生法インストラクターとして活動した。小児保健協会、医師会学校医部会、小児科医会の理事として活動した。		
管理運営	0.10	医局長会議、周産母子センター運営委員会、その他の会議に参加する。			0.10	集中治療部、周産母子センター、輸血療法委員会、保険診療委員会、脳死判定委員会WG、虐待対応委員WGなど病院運営等に関わる会議に参加した。		
進路指導	0.10	研修医や学生を対象に周産期施設見学会を開催し、また研究会への参加を促す等して早期より周産期医療への関心を喚起する。			0.10	研修医、学生の小児医療、周産期医療への関心喚起のため説明会を開催した。		
診療	0.30	附属病院での診療を通して健康維持に貢献し未熟児医療の改善を目指す。市中病院、乳児健診を通して情報の収集と診療技術の向上をめざす。			0.30	周産母子センターで未熟児新生児医療に従事した。市中での救急診療、乳児健診に従事した。予防接種施行に際してアドバイス、講義を行うなど貢献した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		呉屋英樹	所 属	周産母子センター	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	研修医、学生への講義、実技指導など後輩を育てる		0.30	ポリクリ学生への講義、シミュレーション教育、後輩の指導を行った。	
研究	0.20	研究を行い学会報告、論文発表などを行う		0.10	全国学会での発表	
社会貢献	0.00			0.00		
管理運営	0.10	周産母子センターの管理、運営を円滑にしていく		0.10	リスクマネージャーとしての業務やマニュアル作り	
進路指導	0.00			0.00		
診療	0.50	外来、入院を含めた日常診療を行う		0.50	入院、外来での診療を行った。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平敷 千晶	所 属	産婦人科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	3年次からの産婦人科系統講義日程を調整する。個人としては不妊、産婦人科内分泌、妊娠の機序に関する講義を行う。臨床実習において5年次、6年次の指導を行う。		0.20	3年次学生への産婦人科系統講義を行った。できるだけポリクリ、クリクラへ対応した講義になるよう工夫した。	
研究	0.30	帝王切開癒痕部妊娠の治療方法、また胚盤胞移植の治療成績に関する研究を行い、産婦人科内視鏡学会、生殖医学会、受精着床学会などにおいて成果を発表し論文とする。		0.30	日本産婦人科内視鏡学会において帝王切開癒痕部妊娠の治療方法について発表した。日本受精着床学会において当科における低刺激採卵の治療成績について発表した。論文作成中である。	
社会貢献	0.05	沖縄県医師会女性医師部会のフォーラムに参加し、ワークライフバランスについて検討する。		0.05	沖縄県医師会女性医師会フォーラムに参加し、ワークライフバランスについて討議した。琉球大学市民公開講座において一般不妊検査に関するレクチャーを行った。	
管理運営	0.00			0.00		
進路指導	0.05	将来の沖縄県における産婦人科医師増加に寄与するべく教育に当たる。		0.05	産婦人科で働くことができる楽しさや学問的な魅力が医学部学生に伝わるよう心掛け教育を行った。	
診療	0.40	一般不妊治療、高度生殖補助医療、産婦人科内視鏡手術に従事する		0.40	エビデンスに基づき一般不妊治療、高度生殖補助医療、産婦人科内視鏡手術に従事した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	淵上 竜也		所 属	集中治療部	
職 名	講師				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	学生・研修医・看護職員にたいし院内最重症例を収容するICUスタッフを指導・養成するために呼吸・循環・代謝といった重要臓器の臓器障害の診療に関する知識・技術の教育を行う。人工呼吸や持続透析など生命維持装置を含む医療安全の啓蒙をおこなう。		0.20	学生・研修医・看護職員にたいし院内最重症例を収容するICUスタッフを指導・養成するために呼吸・循環・代謝といった重要臓器の臓器障害の診療に関する知識・技術の教育を行う。人工呼吸や持続透析など生命維持装置を含む医療安全の啓蒙をおこなった。
研究	0.15	基礎研究(遅発性脊髄障害とDセリン~ノックアウトマウスを用いた研究~)だけでなく、当院集中治療部におけるPMX-DHPの敗血症治療への有効性に関する研究や新しい人工呼吸モード(適応補助換気)を用いた心臓大血管手術後の呼吸管理に関する研究を継続し当該学会での発表や論文作成を行う。		0.10	当院集中治療部におけるPMX-DHPの敗血症治療への有効性に関する研究や新しい人工呼吸モード(適応補助換気)を用いた心臓大血管手術後の呼吸管理に関する研究を継続した。特に新しい人工呼吸に関して当該国内学会のシンポジウムや国際学会で発表し、麻酔科医向け専門書を分担執筆した。
社会貢献	0.15	県下の麻酔科医不足の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献する。大学内での診療経験や研究から得られた知見を内外の医療従事者に講演する。		0.15	県下の麻酔科医不足の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献した。大学内での診療経験や研究から得られた知見を内外の医療従事者に講演した。
管理運営	0.10	集中治療部のリクスマネージャーとして職場の医療安全に指導監督者的立場で取り組む。部署内外のインシデントを同僚に伝える。部署内でのインシデントが発生した場合、再発防止策を作り実行する。重症系生体情報システムの更新が円滑に行えるよう調整する。		0.10	集中治療部のリクスマネージャーとして職場の医療安全に指導監督者的立場で取り組み、部署内外のインシデントを周知した。部署内でのインシデントの経緯・背景を検証し、再発防止策を作成した。重症系生体情報システムの更新で業務負担軽減を期待できる機能を盛り込んだ。
進路指導	0.05	麻酔・集中治療領域の専門家を目指す学生、研修医、看護師に対し最適な進路選択ができるように教室のもつ研修関連施設にとどまらない情報提供を行う。		0.05	麻酔・集中治療領域の専門家を目指す学生、研修医、看護師に対し最適な進路選択ができるように教室のもつ研修関連施設にとどまらない情報提供を行った。
診療	0.35	院内の手術麻酔、集中治療に従事し安全な周術期管理に貢献する。県内唯一の大学病院の集中治療室として補助人工心臓植込みの周術期管理など先進・高度で専門性の高い診療を行う。		0.40	院内の手術麻酔、集中治療に従事し安全な周術期管理に貢献する。県内唯一の大学病院の集中治療室として補助人工心臓植込みの周術期管理など先進・高度で専門性の高い診療を行う。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	武村 克哉		所 属	医学部附属病院地域医療部	
職 名			職 名	助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 卒前地域医療／プライマリ・ケア教育に関する講義の計画・実施 医学科4年次医療面接講義・実習の計画・実施 医学科4-5年次地域医療実習の計画・実施 模擬患者参加型医療面接セミナーの開催 研修医に対するプライマリ・ケア教育の実施 臨床研修指導医に対する講習の計画・実施 	0.25	<p>・・・卒前地域医療／プライマリ・ケア教育に関する講義(医学科1年次医学概論2コマ、医学科3-4年次地域医療/プライマリ・ケア講義8コマ)の計画・実施、臨床実習開始前の医療面接講義・実習(BPE)の実施、模擬患者参加型医療面接セミナーの開催(6月、10月、11月)、地域の医療機関における学生実習の調整、訪問診療実習施設を新たに1施設追加、総合診療センター外来での学生実習担当、研修医に対する病棟急変対応シミュレーションの開催・実施(7月、10月)、臨床研修指導医養成セミナー(1月)での講習を実施した。</p>	
研究	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療教育・研修に関する研究 臨床研修指導医養成講習の評価に関する研究 	0.10	<p>・・・琉球大学医学科5年次の地域医療臨床実習前後に実施しているアンケート調査結果をまとめ、沖縄県医師会報に報告した。(地域医療臨床実習の期間延長による医学生認識変化について沖縄医報, Vol.50(8), 928-929,2014)。琉球大学医学部附属病院2年目研修医の地域医療研修前後に実施しているアンケート調査結果をまとめ、第46回日本医学教育学会(7月)にて「地域医療研修施設間における研修目標到達度自己評価の比較検討」を発表した。臨床研修指導医養成セミナーの評価に関する論文は進行中である。</p>	
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 公立久米島病院への定期的な診療応援 多施設プライマリ・ケアwebカンファレンス参加・担当 沖縄県委託事業「健康行動実践モデル事業」ワーキンググループ担当 沖縄プライマリ・ケア研究会の幹事を担当 九州地域医療研究会世話人を担当 	0.10	<p>・・・公立久米島病院への定期的な診療応援(月2回)を継続した。Web会議システムを利用した多施設プライマリ・ケアwebカンファレンス・レクチャーシリーズに参加し、カンファレンスを1回担当した(5月)。沖縄県委託事業「健康行動実践モデル事業」ワーキンググループに参加した。沖縄プライマリ・ケア研究会の幹事を担当した。九州地域医療研究会世話人会(4月)に出席した。</p>	
管理運営	0.25	<ul style="list-style-type: none"> 琉球大学医学部附属病院医師キャリア支援センター員として、研修プログラム・地域保健医療研修の調整 沖縄プライマリ・ケア専門研修コースプログラム責任者を担当 琉球大学医学部医学教育企画室員として、離島地域病院実習、地域医療を学ぶための学生セミナーに対する支援 琉球大学医学部医学科教育連絡主任 共用試験医学系OSCE「医療面接」担当 総合診療センター運営協議会 委員 リスクマネジャー連絡会議 委員 ハワイ沖縄医学教育フェロシップ実行委員 	0.30	<p>・・・琉球大学医学部附属病院医師キャリア支援センター員、初期臨床研修先島プログラム「美ぎ島」責任者、地域医療研修担当者として、定例会議に参加し、「美ぎ島」プログラムの調整、地域医療研修の調整を行なった。指導医養成セミナーにてタスクフォースを担当した。日本プライマリ・ケア連合学会認定後期プログラム認定「沖縄プライマリ・ケア専門研修コース」プログラム責任者を担当し、九州支部のサイトビジットを行った(1月)。琉球大学医学部医学教育企画室員として、「地域医療を学ぶためのPBL」の企画・実施(10～12月)、離島地域病院実習において久米島病院実習担当、「地域医療を学ぶための学生セミナー」(3月)を企画運営した。琉球大学医学部医学科教育連絡主任、総合診療センター運営協議会委員、リスクマネジャー連絡会議委員、琉球大学医学部附属病院クリニカル・シミュレーションセンター事業推進委員会委員として会議に参加した。共用試験医学系OSCE「医療面接」ステーション責任者を担当し、医療面接実習のための模擬患者を新たに育成した。ハワイ沖縄医学教育フェロシップ実行委員として、同プログラムの実施調整を行った。</p>	
進路指導	0.05	<ul style="list-style-type: none"> 地域卒業生や地域医療に関心のある学生の支援 	0.05	<p>・・・地域卒業生や地域医療に関心のある学生に不定期にアドバイスを行った。</p>	
診療	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療センターにおける外来診療 禁煙外来 救急部診療応援 	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療センター外来における外来診療、禁煙外来を行った。 救急部診療応援(月1回)を継続した。 	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		青山 肇	所 属		医学部附属病院病理部
			職 名		特命助教
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	1.臨床実習における学生の指導を行う。その際、個々の症例の捉え方を的確かつ丁寧に指導できるように知識の充実を図る。2.病理部に研修に来る初期研修医の指導を行う。その際に組織の顕微鏡的観察だけではなく、肉眼診断の重要性、臨床情報の理解が重要であることを認識させる。		0.25	1. 病理部のポリクリ学生に対して、主として生検組織診断症例の指導を行った。またM3学生に対して、病理学各論の講義・実習・試験を行った。 3. 病理部の初期研修医2名に対して指導を行った。
研究	0.25	1.外科病理組織を用いた病理学的な研究を確立し、学会発表や論文作成を目指す。2.後期研修医や初期研修医の学会報告の指導を行う。3.科学研究費補助金の獲得を目指す。		0.25	1. 日本病理学会にて発表した。また各県内勉強会において講演を行った。 2. M6学生の日本病理学会での発表を指導した。 3. 科研費は獲得できなかった。
社会貢献	0.15	離島を含む県内各病院の病理診断・病理解剖に従事する。		0.15	県立宮古病院を含む県内各病院にて、病理診断・病理解剖ならびにカンファレンスを行った。
管理運営	0.05	病理部内の業務が円滑に進むよう、様々な管理業務やミーティングを行う。		0.05	病理部内の業務が円滑に進むよう、様々な管理業務やミーティングを行った。
進路指導	0.05	医学生および初期研修医に対して、進路決定の参考となるよう病理学・病理診断の実際についての情報を提供する。		0.05	医学生および初期研修医に対して、県内病理合同説明会にて情報を提供した。
診療	0.25	1.大学病院における病理診断業務を行う。2.臨床各科とのカンファレンスに積極的に参加する。		0.25	1. 大学病院にて病理診断業務を行った。 2. 消化器カンファ・がんサーボードなどの院内カンファレンスに参加した。
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山城 剛	所 属		附属病院 輸血部	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.15	琉球大学医学部学生、研修医に対して、血液製剤の適正使用に関する知識と副作用の知識、対処法に関して教育を行う。			0.15	琉球大学医学部学生に対しては血液製剤の種類、使用目的、保存条件、使用期限など基本的な知識について、研修医に対しては血液製剤適正使用、副作用に関する知識、対処法に関して教育を行った。		
研究	0.05	・マイクロアレイ、モデルマウスを用いた非アルコール性脂肪性肝炎の病態解明(論文作成)、・French national reference laboratory とのD型肝炎に関する国際共同研究(サンプル収集)			0.05	・マイクロアレイ、モデルマウスを用いた非アルコール性脂肪性肝炎の病態解明について論文作成中である。・French national reference laboratory とのD型肝炎に関する国際共同研究ではHDV感染者の血清サンプル収集中である。		
社会貢献	0.20	日本肝臓学会専門医、指導医として沖縄中部地域の肝臓病患者の診療にあたる。消化管内視鏡検査は消化器癌の早期発見に重要な検査であるが、沖縄県は需要に対する内視鏡専門医の絶対数が少ない。地域病院の要請に応じ、消化管内視鏡専門医として社会貢献を行う。			0.20	日本肝臓学会専門医、指導医として沖縄中部地域の肝臓病患者の診療にあたった。地域病院の要請に応じ、消化管内視鏡専門医として消化器癌の早期発見のため、下部内視鏡検査を行った。		
管理運営	0.60	琉球大学医学部附属病院輸血部副部長として、輸血部業務の管理運営を行う。			0.60	琉球大学医学部附属病院輸血部副部長として輸血部業務の管理運営(血液製剤の適切な保管、正確な輸血検査の実施、輸血部専任技師の適正な配置への取り組みなど)を行った。定期的に行われる輸血療法委員会において各診療科から輸血部業務に対する要望を取り入れながら運営にあたった。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	小宮 一郎		所 属	地域医療システム学講座		職 名	教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	①教務委員会委員として委員会活動に積極的に参加する。医学教育カリキュラムの改編作業の中心として、臨床医学及び臨床実習の改革を継続する。②教務委員会医委員並びに教育企画室室員として地域枠学生の指導・教育に携わる。③琉球大学URGCCの医学科委員として琉球大学の教育全般の向上に寄与する。④医学科の医師国家試験対策委員長として国家試験対策並びに試験問題の作成に関わる。⑤1年次の医学概論Bの世話人、4年次の医療学総論の世話人として、それぞれ早期臨床体験や臨床実習のオリエンテーションに関わる。さらに平成25年度からの4年次TBLチュートリアル教育の充実と拡大に努める。⑥医学教育国際認証に向けた作業にアドバイザーとして参加する。		0.30	①教務委員会委員として委員会活動に積極的に参加した。医学教育カリキュラムの改編作業の中心として、臨床医学及び臨床実習の改革を継続した。②教務委員会医委員並びに教育企画室室員として地域枠学生の指導・教育に携わった。③琉球大学URGCCの医学科委員として琉球大学の教育全般の向上に寄与した。④国家試験対策並びに学内の全ての総合試験問題のブラッシュアップに参加した。⑤1年次の医学概論Bの世話人、4年次の医療学総論、5年次の総合講義などの世話人として、早期臨床体験や臨床実習に関わった。さらに4年次TBLチュートリアル教育の充実と拡大に努め、年間60コマの授業として確立した。⑥医学教育国際認証に向けた作業にアドバイザーとして参加した。			
研究	0.20	①沖縄県の地域医療の在り方を研究する。②新たな医学教育の在り方を研究し、その結果を医学教育学会等の学会にて学術論文などで報告する。③糖尿病の診療を通じて、沖縄の糖尿病患者の予後改善を目指した臨床研究を行う。④脂質代謝異常と癌の疫学的研究を行い、癌の早期発見に関連する研究を行う。⑤尿酸排泄と糖尿病との関連性を研究する。		0.20	①沖縄県の地域医療の在り方を研究した。②新たな医学教育の在り方を研究し、その結果を医学教育学会等の学会にて学術論文などで報告した。③糖尿病の診療を通じて、沖縄の糖尿病患者の予後改善を目指した臨床研究を行った。④脂質代謝異常と癌の疫学的研究を行い、癌の早期発見に関連する研究を行った⑤尿酸排泄と糖尿病との関連性を研究し、論文として作成中である。			
社会貢献	0.15	①沖縄県の地域医療再生計画に参画する。②県内の市町村の健康教室(金武町)の講師を務め、県民の健康増進に貢献する。③看護協会などの県内医療関連組織への医学講演を通じて沖縄の医学向上に貢献する。④CBT・OSCEの外部評価者として、我が国の医学部CBT・OSCE運営の改善に寄与する。		0.15	①沖縄県の地域医療再生計画に参画した。②県内の市町村の健康教室(金武町)や企業の健康講座の講師を務め、県民の健康増進に貢献した。③看護協会などの県内医療関連組織への医学講演を通じて沖縄の医学向上に貢献した。④CBT・OSCEの外部評価者として、我が国の医学部CBT・OSCE運営の改善に寄与した。			
管理運営	0.20	①沖縄県寄附講座の教授、教務委員会委員、沖縄シミュレーションセンターのコアメンバーとして活動に積極的に参加し、さらに講座の奥村准教授に医師キャリアセンターでの業務やその他の業務をバックアップする。		0.20	①沖縄県寄附講座の教授、教務委員会委員、沖縄シミュレーションセンターのコアメンバーとして活動に積極的に参加し、さらに講座の奥村准教授の医師キャリアセンターでの業務やその他の業務をバックアップした。			
進路指導	0.15	①医師国家試験対策委員長として、医学部学生の合格率向上に努力する。成績下位の者に対する面接や集団指導を行い、国試の合格率を上げる努力を行うとともに、現状の分析結果を学会等に発表する。②既卒の国試浪人を対象とした個人指導を行う。		0.15	①医学部学生の合格率向上に努力した。成績下位の者に対する集団指導を行い、国試の合格率を上げる努力を行うとともに、現状の分析結果を学会等に発表した。②既卒の国試浪人を対象とした個人指導を行った。			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		恒吉 章治	所 属		腎臓病総合治療学講座	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.10	腹膜透析に従事する医師、看護師の拡充を図り、指導を行う。			0.15	専任PDナースへの教育を強化。病棟看護師への勉強会。病棟担当医とのカンファレンスで情報の共有、PD診療の教育を図った。4年次医学部生に対し、OSCE(医療面接)の研修および試験監督を務めた。		
研究	0.20	「尿酸と腎機能低下の関係について」の疫学的研究に取り組む。			0.10	「尿酸と糖尿病発症の関連について」の疫学研究を進行中である。「透析患者におけるデノスマブの有用性と安全性」の臨床研究で、学会発表予定。		
社会 貢献	0.20	院内および他施設(近隣のクリニックなど)でカンファレンス(TREAT PDカンファレンスなど)や勉強会を行い、腹膜透析療法の知識・技術の普及を図る。当院への腹膜透析導入目的の紹介数の増加、ひいては、沖縄県における腹膜透析普及率の増加を目指す。			0.25	他施設とカンファレンス(TREAT PDカンファレンス)、勉強会(地域勉強会)を行い、PDの知識・技術の普及を図った。沖縄県の慢性腎不全患者に適切な腎代替療法の選択がなされるよう普及活動を行った。3月に慢性腎不全についての市民公開講座予定。		
管理 運営	0.00	血液浄化療法部の運営について(リスクマネージメント、感染管理、維持透析患者数の調整など)			0.10	血液浄化療法部の運営について、感染対策委員を務めた。リスクマネージャー会議にも出席し、部署の安全な運営に務めた。		
進路 指導	0.00	今のところ、活動予定なし。			0.00	直接の、学生、研修医に対する進路指導なし。		
診療	0.50	腹膜透析の外来診療、導入診療。保存期腎不全患者の療法選択外来。他院との連携を図り、腹膜透析の病診連携を図る。			0.40	腹膜透析の外来診療、病棟との連携。保存期腎不全患者の腎代替療法選択外来。外来維持血液透析患者および入院血液透析患者の管理。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	